

本支店事務協議會書類

至 皇昭和六年春
私了

昭和25年受

永久

第82

1册

第5函

| | |
|---------------|-----|
| 公文 | |
| 第1門 | 第4類 |
| 第1號 | ノ10 |
| 昭和12年10月19日登記 | |
| 永久 | 保存 |
| 審査部 | |

昭和六年四月十五日

祕書役

各部局長殿

調査室

來ル五月十一日（月曜日）ヨリ本支店事務協議會開催セラルヘク候ニ
付此段及御通牒候也



審秘第三二號

昭和六年四月二十四日

審
査
部
主
事

各

支
店
長
殿



來月開催ノ本支店事務協議會ニ於ケル詰問事項トシテ差當リ決定セラレ
ル分ハ別記ノ通ニ有之候間此段及御通知候也

昭和六年五月本支店事務協議會

諸 問 事 項

一、近來地方銀行ハ概ネ預金減少シツ、アル如クナルカ其實情并ニ前途ノ見込及之ニ對シ地方銀行ノ採リツ、アル措置如何

一、本行ニ於ケル商業手形以外ノ割引手形ノ署名者ハ從來割引依頼銀行ノ行員ヲ振出人及支拂人トシ銀行ヲ受取人トスルヲ普通トセルカ手形署名者タル行員ハ當初ヨリ斯カル手形債務ヲ負擔スル意思無キヲ以テ其退職等ノ場合債務ノ承認ヲ爲サル虞ナシトセス而シテ主タル手形債務カ時効ニ依リ消滅シタル場合ニハ其裏書債務モ共ニ消滅スルコト、ナル斯カル故障ノ發生ヲ避クル爲如何ナル方法ヲ採ルヲ適當ト考フル

ヤ

審秘第四一號

昭和六年五月十九日

審 查 部 主 事



各 支 店 長 殿



本月御開催ノ本支店事務協議會席上ニ於ケル總裁演說要旨別冊及御送付
候也

秘

昭和六年五月十一日

本支店事務協議
會席上ニ於ケル

土方總裁演說要旨

一、之カタ本支店事務協議會ヲ開クニ先チ財界ノ狀況ヲ申述ベテ諸君ノ御参考ニ供シ度イト思フ、御承知ノ如ク金融界ハ非常ナ緩慢状態ヲ續ケテ居ルガ之ハ所謂良イ意味ノ緩慢状態デハナク凡テノ産業其他ノ方面ノ縮少トカ資金ノ偏在トカニ因ル變態的緩慢デアツテ而カモ之ガ日本許リデナク外國デモ同ジ經濟ヲ辿ツテ居リ所謂低金利時代ヲ現出シテ居ルノデアアルガ之ハ必ズシモ産業ヲ鼓舞獎勵シテハ居ナイ様ニ思ハレル、之ガ如何ニ轉回シテ行クカハ固ヨリ豫測ヲ許シマセン其原因ハ複雑デ而カモ長イ間ノコトデアアルカラ容易ニ轉回ハ六ヶ敷イト思フ、此間ニ於テ日本ハドウスルカ、日本ノ國內事情カラ今直チニ斯ウシタラ景氣ヲ直スコトガ出來ルト云フ事ハ云ヘヌ、政界財界デ色々考ヘラレテハ居ルガ斯ウシタラヨイト云フ方策ハ何等確立的ナモノハ今以テ樹テラレテ居ナイ、モツト財界ヲ是正シテ行ツテ徐ロニヤルト云フヨリ外ハナイ、今策ヲ弄シテ見テモ餘リ效ハナイト思フ

景氣ノ轉回ニ付テハ今述べタ如クデアリマスガ現在ノ状態ハドウナツ

テ居ルカ、之ハ諸君ノ承知デアルト思フガ本店デ調査シタ所ノ調査
迄ニ述ベテ見マス

一、第一ニ對外爲替ノ經過ヲ述ベマスト昨年一月並解禁ヲシテカラ七月頃迄ハ兎角爲替相場ガ安定シナカツタノデアルガ七月ノ末カラハ正金ガ爲替市場デ賣ツテ出タ、其結果正金ハ六千萬圓程現送ヲシタガ、之ガ爲メニ爲替モ安定シ日本ニ對スル不安モ段々無クナリ昨年ノ暮ニハ對米爲替ハ四十九弗十六分ノ十一ニナツタ、ソレカラ本年ニ入ツテモ輸入率ニモ拘ラズ大体安定シテ餘リ軟弱ナ相場ハ出ズ四十九弗八分ノ三乃至四十九弗二分ノ一ト大体正金建値ト同値ヲ維持シテ居ル、正貨ノ方ハ兌換シテ出テ行ツタノヤ地金賣却ニヨリ出テ行ツタノガ三億八百萬圓デ其内外國銀行ガ一億七千二百萬圓、本邦爲替銀行ガ一億三千六百萬圓デアルガ更ニ本邦爲替銀行ノ内正金ガ六千萬圓、其他ノ銀行ガ七千六百萬圓トナツテ居ル、現送ハ八月迄デ、以後ハ少クナリ九月ニナツテカラハ蘭印商業ダケガ現送ヲシタ、而シテ本年ニ入ツテカラモ現送ハ

少クテ和蘭系銀行ガボツボツヤツテ居ルガ其額ハ千百五萬圓ニ過ギナイ、之ハ多少輸入代金ノ取立モアルガ大部分ハ爲替ノ思惑ノ様ニ見え、然シ一方ニ支那方面ヨリノ流入モアリタル爲兎ニ角正貨準備ハ本年ニ入ツテ最近迄ニ差引千五百萬圓程流入超過トナツテ増加シテ居ル、ソレカラ本年ノ貿易ハ三月迄ハ好調子デアツタガ四月カラ棉花ノ輸入ガ殖エタ一方生糸ノ輸出ガ減ツタ爲メニ八千二百萬圓ノ入超ヲ示シテ居ル、今後ドウナルカト云フコトハ的確ニ申シ兼ねルガ先月ノ様ナ状態ハ續カナイノデハナイカト思フ、又本年二月ニ於ケル海外借入金ヲ見ルト正金其他デ八千四百萬圓ヲ輸入季節トシテハ少イ、且ツ海外投資モ之以上増加スルコトハアルマイシ貿易尻モ昨年ニ較べルト七千三百萬圓モ良化シタノデアルカラ之等ヲ考ヘテ見ルト今後正貨ノ流出ガ多カラウトハ思ヘナイ、尤モ正金ノ賣持ガ一億三千四百萬圓アルカラ此關係デ正金ガ正貨ヲ持出ス必要ガアルカモ知レヌガ然シ之モ幸ニ臺灣電力ノ外債ガ出來レバ其レ丈ケハ減少スルコト、ナル、要スルニ輸

入季節ニ拘ラズ今後ノ正貨流出ハ多額ニハ上ルマイト思フ

一、國際收支ニ付テハ正金デ調べタ昨年度ノ貿易外收支ヲ基トシテ考ヘルト昨年中ノ我國ノ國際收支額ハ正貨ノ移動ト流出三億八百萬圓、流入二千萬圓トヲ込メテ受取八億四百萬圓、支拂七億九千五百萬圓、差引九百萬圓程ノ受取超過ニナツテ居ル、今年ハドウカト云フニ四月迄ノ實績ト五、六兩月ノ豫想ヲ加ヘルト輸出五億四千四百萬圓、輸入六億六千二百萬圓見當トナルカラ上半季ノ入超額ハ一億千七百萬圓位トナル、或ハモツト少クテ濟ミハセヌカト思フ、下半季ニナレバ出超季ニ入り紡績ナドモ相當ニ出來、海外進出モ出來ルダラウガ昨年ニ比シ輸出生糸ノ安値、棉花消費ノ事情等カラ輸出ノ減ル割合ニ輸入ハ減少シナイト考ヘラレル、之ヲ數字デ現ハス事ハ困難デアルガ昨年下半年ニ見タ様ナ一億四千萬圓ノ出超ハ期待出來ヌト思フ、又殖民地ノ貿易ハ昨年ハ八千五百萬圓ノ入超デアツタガ本年ハ減少シテ居ルカラ彼是綜合スルト本年度ノ全國貿易ハ結局一億圓以内ノ入超ニ止マルノデハナ

イカト思ハレル、又昨年末調査局デ豫想シタ貿易外收支ニヨルト受取
超過見込額ハ八千二百萬圓デアツタガ大体此通りニ行クトスレバ六年
度ノ國際收支ハトントンニ行クカ或ハ僅カノ支拂超過デ濟ムノデハナ
イカト思ハレル

一、次ニ我市場ニ於ケル國債相場及海外ノ外貨公債相場ノコトヲ述ベテ内
地ノ投資ガ今後ドウナルカト云フコトモ考ヘテ見ルト、日本ノ國債相
場ハ昨年ハ悪カツタガ本年三月ニハ騰貴シ、其後少シ低イケレドモ寔
リシテ居ル、昨年十二月下旬以來減債基金ニ依ル買入ハ行ツテ居ラヌ
ガ相當相場ヲ維持シテ居ル、之ハ要スルニ事業界ガ悪イノニ一方公債
ハ確實デアルト云フノデ積極的ニ買ハレタカラデアル、此度ノ國債モ
九十九圓デ前回ノガ九十六圓デアツタノニ比シ期限モ長イノニ三圓違
ツテ居ル、尙内外債ノ利廻ヲ比較シテ見ルト其開キガ少クナツタ、現
ニ一週間程前ニハ内債ハ五分五厘位、外債債ハ五分七厘九毛ト云フ様
ナ具合デ大体三厘程度ノ開キヲ存シテ居ルガ外債債ニ投資スルノハ手

數モ掛ルノデ三厘以上五厘位ノ開キガナケレバ日本人ハ買付ケナイカラ投資ハサウ澤山アルハ思ハレナイ

昨年中ニ銀行（本行取引先）、信託會社、保險會社ノ外貨債ヤ外國證券ニ投資シタ高ハ一億四千二百萬圓ニ上ツテ居ルガ其内正金ガ六千六百萬圓増加シテ居ルカラ之ヲ除クト正金以外ノ處デ約七千六百萬圓ノ新投資ガアツタコトニナル。尚本行取引先銀行ノ昨年末ニ於ケル英貨及米貨債ノ所有高ヲ調ベタ英貨債千八百九十四萬九千磅、米貨債八千七百二十六萬二千弗デ此邦貨債合計三億六千四百萬圓ニ上ツテ居ル本年ニ入ツテカラノ投資額ハヨク判ラヌガ證券業者ハ二千萬圓位ハアラウト云ウテ居ル、然シ採算上カラ見テ之以上多クノ買付ハ行ハレマイト觀測シテ居ル

一、銀行勘定ニ付テ見マスト昨年末ニ於ケル全國ノ普通銀行及貯蓄銀行ノ所有有價證券ヲ合計スルト四十億六千八百萬圓ニ達シテ居ルガ其内本行取引先百七十五行（特殊銀行ヲ除ク）ノ所有證券ハ三十三億二千八

百萬圓デ全國ノ普通及貯蓄銀行ノ所有高ノ八割一分六厘ヲ占メテ居ル
尙取引先銀行ノ所有證券ノ内譯ハ國債十四億六千三百萬圓、地方債三
億二千七百萬圓、社債十二億二千九百萬圓、外國證券三千五百萬圓、
株式二億七千四百萬圓デアアルガ此内差益ノ出ルノハ國債ノ千三百七十
萬圓、地方債ノ百四十七萬圓、合計千五百十七萬圓デ差損ノ出ルノハ
社債ノ二百七十四萬圓、外國證券ノ二百五十七萬圓、株式ノ千八百十
二萬圓、合計二千三百四十三萬圓デ之ヲ差引スルト昨年上半季末ノ差
損ガ二百五十萬圓デアツタニ對シテ下半季末ニハ八百二十六萬圓ニ増
加シテ居ル譯デスガ外ニ千百四十三萬圓ノ銷却ヲシテ居ルカラ之ヲ通
計スルト昨年下半季中ノ値下リ損ハ千七百十八萬圓トナル勘定デ兎ニ
角値下リ損ノ負擔ハ少クナイ、尤モ本年ニナツテ幾分輕減ハシテ居ル
デアラウ、ソレカラ前述ノ百七十五行ノ内評價損ノ出ル銀行ハ九十一
行デ半數以上ニ達シテ居ル、又證券持高ハシンデケート銀行ニ於テ増
加シ二流以下ノ銀行デハ減少シテ居ルガ之モ資金ノ都會集中ノ現ハレ

デアラウ

一、入札ノ方法ニ依ル大藏省證券ノ發行ハ本年一月以來四回行ハレタ、初回ノレイトハ平均九厘三毛デアツタガ最近ノハ五厘四毛ニ低下シレトハ非常ニ下ツテ居ル、六年度ニ於ケル大藏省證券ノ發行限度ハ一般會計デ一億圓増加シタカラ特別會計ト合セテ三億七千萬圓トナツタ、今後大藏省證券ノ發行ガドウナルカノ豫想ハ困難デアルガ例ノ赤字問題ハアルシ預金部ノ懐勘定ヲ見テモ各方面ニ資金ヲ出シテ居ルカラ前年度ヨリモ公募スル場合ガ多カラウト思フ、ソレカラ米穀證券ノ發行限度モ八千萬圓増加シタ、之ハ借替ノ分ニ限り市場ニ出ル譯デ現在預金部ノ引受ケテ居ル五千三百餘萬圓ハ借替ノ時ニハ場合ニヨリ市場ノ資金ヲ集メルコト、ナラウカラ、公募額ハ豫想出來ヌガ兎ニ角傾向トシテハ公募ノ場合ガ多クナルノデハナカラウカト思フ

二、次ニ單名手形デアルガ之ハ機會アル毎ニ餘計ニナラヌ様希望シテ來タノデアルガ矢張り増加シテ居ル、本年一月十五日現在ニヨルト六億五

千四百萬圓デ、即チ銀行ノ持高ガ五億一千萬圓、信託會社ガ一億四千萬圓、保險會社ガ三百萬圓トイフコトニナツテ居テ昨年九月十五日現在ニ較ベルト三千三百萬圓程ノ増加デアル、又此ノ單名手形ノ三割二分ハ鐵道、電鐵等所謂交通關係ノモノ、三割四分二厘ハ電燈、電力、瓦斯關係ノモノトナツテ居ル、尙最近ノ調査ニ依ルト銀行丈ケニ付テ見レバ一月ニ較ベテ大阪デ約百萬圓、名古屋デ約二百萬圓増加シテ居ル、東京デハ中小銀行ノ持高ガ減少シテルガ其内ニハ大銀行ヘ移ツテ居ルモノガアルラシイ、單名手形デビルブローカー扱ノモノガ惡イコトハ慶々云ツタガ本年四月二十日ノ調ヲ見ルト東京扱ノモノ四千九十九萬圓、大阪扱ノモノ四千七百七十萬圓、名古屋扱ノモノ千三百五十萬圓、合計一億二百二十萬圓デ之ヲ一月十五日ニ較ベルト千六百萬圓許リ減ツテ居ルガ兎ニ角ビルブローカー扱ノモノガ相當行ハレテ居ルコトガ判ル、手形ノ種類ハ電燈、電力關係ノモノガ減ツテ鐵道關係ノモノガ増加シテ居ル、電燈、電力關係ノ減ツテ居ルノハ之等事業會社ニ

對スル警戒モ手傳ツテ居ルノデ、鐵道關係ノ増加シタノハ滿鐵物ガ多
イ爲メデアル

一、資金偏在ノコトデスガ先ヅ預金ノ移動ヲ見ルト郵便貯金貯蓄預金ハ増
加シテ居ルガ普通銀行預金ハ減少シテ居ル之ハ一ハ財界不況ノ結果ト
一ハ銀行ニ對スル不安ノ爲メデアル、今一昨年末ト本年三月末トヲ比
較スルト全國普通銀行預金ハ六億二千五百萬圓減ツテキルガシンデケ
レト銀行ハ千七百萬圓程増加シテ居ルカラシンデケレト以外ノ銀行ノ
減少額ハ六億四千二百萬圓ニ上ル勘定デアル、尤モシンデケレト銀行
ノ中ニモ殖エタノモ減ツタノモアル、三井、三菱、第一、住友ナドハ
増加シ、安田ハ減少シテキル、一方郵便貯金ノ方ハ三億六千五百萬圓
貯蓄銀行預金ハ一億四千五百萬圓ノ増加デアル、ソレカラ本行取引先
銀行中預金貸出等ニ減少シタモノハ昨年下半年ハ上半季ニ較ベテ二十
七行増加シテキル（下半年末現在一〇九行）、預金ガ減少シ貸出ノ増
加シタモノハ二十八行ノ減少（下半年末現在二五五行）、預金ガ増加シ

貸出ノ減少シタモノハ四行ノ減少（下半季末現在一六行）、預金貸出共ニ増加シタモノハ五行ノ減少（下半季末現在二五行）トナツテキル本年ノ四月一日以來各地ニ於テ預金利子が引下ゲラレタガ之ハ經營上ドウシテモサウアルベキデアル、預金利下ノ影響ハ大銀行ハ兎ニ角トシテ小銀行ニハ相當響クデアラウ即預金ハ漸次大銀行へ移動シテ一層資金ノ偏在ヲ來スコトハナカラウカ、兎ニ角相當預金ノ爭奪が行ハレテ居ル様ダカラ此調子デハ資金偏在ノ傾向ハ停止シナイト思フ

一、次ニ補償生系ノコトデアアルガ生系ハ昨年十月ニ五百四十圓迄下ツテ有史以來ノ最低レコードダト騒ガレタ、其後漸次引返シテ春ニハ七百六十圓迄回復シタガ昨今ハ更ニ右ノレコードヲ破ツテ五百三十圓迄低落シタ、補償系ノ數量ハ現在十四萬五千七百五十三桶、ソレニ共同保管系ガ四萬六千百三桶アツテ合計十九萬一千八百五十六桶トイフ状態デアアル、先月補償系ノ一部ヲ入札ニヨツテ賣出シタガ五百八十圓位ノ相場デ出來タ、若シ全部ガ五百八十圓デ處分セラレルトスレバ二千六百

七十二萬六千圓ノ損失トナル、政府ノ補償ヲ受ケテ其後ニ尙之レダケ
ノ損失ヲ生ズルノデ之ハ強制積立金ヲ徵收シテ埋メテ行クノデアアルガ
夫レハ長イ間カ、ルカラ結局銀行ノ長期固定貸トナル譯デア
一、最後ニ海外市況ハ諸君モ御承知デアラウガ英米共穀頃物價モ少シ騰ツ
テ來テ殊ニ米國ノ方ハ少シ良イ方ニ向ヒスチール自動車等ハ景氣付キ
公社債ノ相場モ相當強クナリ或ハ外國債モ相當發行出來ハセヌカトイ
フ氣配ニナツテ、モウ不況モ終リデアラウト云フ者モ出テ來タノデア
ル、然ルニ其後ユ一。エス。スチール株ガ暴落スルト云フ様ナ譯デ起
債市場モ面白クナクナツタノデアアル、サウ云フ風ニ歐米共不況デアリ
支那モ銀安デ物價ガ高ク輸出ハ不振デアアル、世界各國共金利ハ非常ニ
安ク米國デハ一分半ト云フ未曾有ノ低金利ヲ示シテ居ル、カウ云フ狀
態デスカラ日本銀行ハ此低金利ニ追隨シテ利下スルコトヲ何故躊躇ス
ルノカト云フコトモ聞クガ本行ノ金利ヲ動かスコトハ非常ニ重要ナコ
トデ之ハ二六時中考ヘテ居ル所デ時機到レバ直チニ決スル積リデ居ル

此點ニ付テハ先月十七日名古屋ノ全國手形交換所大會デ所見ヲ述ベタ
コトハ皆様御承知ノ通りデアル、要スルニ通貨ノ状態カラ見テモ今日
デハ兌換券ハ九億圓臺ニアリ昨年ニ較ベテ少イノニ何故世間デハ通貨
ノ不足ヲ訴ヘナイカト云ヘバソレハ環境ガ之ニ添ツテ居ナイカラデ、
サウ云フ時ニ殊更金利ヲ引下ゲルノハ要ラヌ所ヘ金ヲ出スコト、ナル
様ナモノデ其影響ハ或ハ悪イ方ノ結果ヲ招來スルカモ知レヌ、少クト
モ只今ハサウ考ヘテ居ル次第デアル

昭和六年五月本支店事務協議會

第一日 (月曜日)

五月十一日 午後二時五分開會

總裁、副總裁、永池理事、堀越理事、中根理事、各支店長、各部局長、檢査役、調査役出席

土方 總裁 演說 (別紙ノ通り)

堀越 理事 只今ノ總裁ノ御話ニ付御質問ガアレバ言ツテ頂キ度イ

土方 總裁 此席デ話スコトデハナイガ先程言ツタ正金ノ賣持一億三千四百萬圓 (政府指定預金九千三百萬圓ヲ含マス) デアルガ、勿論今ノ輸入季節ニ賣持ノ多イノハ止ムヲ得ナイカ、之ガ非常ニ金融ヲ緩慢ニシテ居ル、少クトモ正金ハ指定預金ノ九千三百萬圓ヲ政府ニ決濟スベキデアルノヲ決濟セヌノデ此金ガ市場ニ於テ變態的ニ金融緩慢ヲ助長シテ居ル、世間

堀越理事

デハ此實情ヲ知ラナイデ居ル、之ヲ政府ガ拂下ゲレバソレ
ダケ市場資金ハ減少シテ行ク筈デアアル

先刻總裁ノ御話中補償生糸ノコトデスガ其損ヲドウシテ埋
メルヤト言フト帝蠶組合デ製糸家が糸ヲ賣ルト一捆ニ付七
圓宛トル、ソレデ損ヲ埋メルコトニナルカ、ソレニ依ルト
十年位カ、ルトイフコトデアアル、ソレモ生糸ガモツト下レ
バ更ニ永クナル、然シ水クハナツテモ銀行ハトレル、積立
金ノ運用利息ハ五分トシテノ計算デアアル……ツマリ製糸家
モ其損ヲ背負ツテ居ルノデアアル

菊地京都支店長

組合ノ積立金トイフノハ如何ナルモノナリヤ

堀越理事

強制組合デアルカラ組合ヘハ入ツタ者ハ皆積立テル

菊地京都支店長

補償ノ時期ハ如何

土方總裁

其時期ハ自然延ビルコトトナラウ

宗像福島支店長

臺灣電力以外ニハ外資輸入ノ計畫ナキヤ

土方 總裁

承知シ居ラス、日本へノ投資デ手ヲ焼イタカラアリ様モナイ、東拓デモ政府保證デ外債ヲ募ラウトイフ話モアルガソレガ出來ルダラウトイフ自信ハナカラウ

菊地京都支店長

民間預金カ多イト云フ事ノ實情如何

土方 總裁

今日ノバランスデハ三億五千萬圓位アルガ月末ニモ餘リ減ラナイ、尤モ特殊ノ預金ガ落チレバ兌換券收縮ノ現状ガ通貨量ニ響イテ其不足ヲ感ズル様ニナラウ

君島岡山支店長

抵當證券法ハドノ位ノ影響アリヤ

土方 總裁

此間九州ノ方ヲ歩イテ聞イテ見ルト所謂證券法ガ出テ、アノ證券ヲ見返トシテドシ金ヲ貸シテ貰ヘルト思ツテ居ル様ナノガアルノデ意外ニ思ツタ、相當利廻ニナルノデナクテハ之ニ投資シ様トイフ者ハナイカラ相當**マーヂン**ヲ出セル様ニシナケレバ利用サレヌアマリ期待出來ヌコトト思フ

深井副總裁

關東銀行同盟會デ此證券ヲ日本銀行ノ見返品ニシテ呉レル様ニトノ決議ヲスルトカ云フコトデアアル

君島岡山支店長

川崎造船ノ整理問題ガ新聞ニ見エルガ其經過如何

土方總裁

川崎造船ニインテレストヲ持ツテ居ル者ノ中デ一番大キナ債權者ハ十五銀行ダガソレヲドウスルカ、少クトモ十五ガ和議ニシテモヨカラウトイフノデナケレバ駄目デアアル、十五トシテハ自分ノ處ノ整理モアルコトデアリ自分ノ債權者ニ不利ナコトヲスレバ自分ノ整理ガ出來ヌカラ十五トシテモ何ウカナルトイフコトヲ**グラス**ブセネバ應ジラレナイ此間當事者トシテハ考ヘラル、最後ノ案ヲ持ツテ來タガ大体ノ見當ハ隨分六ヶ敷イ、此前ノ整理案ハ年收千百萬圓トイフ基礎ノ上ニ出來タノダガ今度ハ之ガ五百萬圓ヲ切レル、半分以下ノ年收入ヲ以テ整理スルノデアアルカラ困難デアアルシ又非常ニ長期ニ亘ルコトトナル

平瀬門司支店長

銀行法上資本金ノ制限ノ猶豫方ニ付テ政府ノ意向如何

土 方 總 裁

公式ニハ何モ聞イテ居ナイ、大藏省トシテハ銀行法ノ通り

明年中ニヤラネハナラヌ、ガ基礎ガ強固デアレバ單獨増資

デモ許シテヤルトイフ方針ラシイ、元ハ銀行數ヲ制限スル

コトニ重點ヲ置イタカラ合併セネバイカヌトイフ風ニシテ

居タガソレハ多少緩和サレルコト、思フ

堀 越 理 事

サウイフ意味デ預金ノ取付ヲ受ケタ銀行アリヤ

平瀬門司支店長

マダアリマセン

土 方 總 裁

兵庫縣ハ小銀行ノ多イ所ダカラ神戸支店ノ收管内テハソソ

ナ話ハナイカ

岡田神戸支店長

聞キマセン

土 方 總 裁

銀行法ニ觸レル銀行カ多イダラウ

岡田神戸支店長

縣ノ商工課デ調べタ所ニ依ルトカ、ル銀行數ハ縣下デ四十

餘行ニ上ル由ナルガ合併スル銀行モ少シハアリマス

深井副總裁

一寸皆サンニオ傳ヘシテ置クガ、ヨク斯ウイフ席ヘ持チ出
スベキ性質ノモノテナイ一定ノ相手方ニ御話ニナリ或ハ非
公式ニ御相談ニナルコトヲ會ノ終リニナツテカラ御話ニナ
ルノデユツクリ話ヲシテ居ラレヌコトガアル、一人ニ向ツ
テ非公式ニ御相談ニナルコトガアルナラ晝前後ニハ席ニ居
ルカラ歸リ際ニ累積セヌ様ニ、又別席モシマスカラサウイ
フコトハ早ク御話ニナル様ニ願ヒ度イ

堀越理事

今度諸問事項ニツ御手許ニ出シテ置キマシタガソノ最初ノ
方カラヤリマス、之ハ問題ノ範圍力狭クナツテ居ルガ之ニ
局限スル趣意デハナイカラ之ヲ中心トシテ色々御話ヲ願ヒ
度イ、一ノ問題ハ斯ウナツテ居マスガ中ニハ地方デモ金ヲ
剩シテ居ル銀行ガナイデモナイカラサウイフ銀行ハドウシ
テ居ルカトイフ様ナコトヲ話シテ貰ツテモ宜イ、デハ預金
減少ノ多イ九州カラ始メマス……平瀬君

平瀬門司支店長

預金ノ減少ニ付テハ總裁モ御話ニナリマシタガ預金ノ減ツ
タノハ有力銀行又ハ郵便貯金へ移動シタ、預金減少ノ原因
ニハ二ツアツテドツチガ有力デアルカハ銀行ニヨツテ違フ
カ特定ノ銀行カ怪シイイフノデ減ツテ行クノト、一般ニ
地方銀行ニ對スル不安ニ依ルノトアリマス、減リ方ニモ二
ツアツテ預金ヲ引出シテ信用アル方へ持ツテ行クノト、支
拂スル時ニ預金ヲ引出シテ預ケ入レル時ニハ良イ銀行へ持
ツテ行クノトアルカ後ノヤリ方ハ目立たスヤリ方デアル、
預金ノ移動ハ昨年ハ大分行ハレタ様タガ年末ヤ舊節季頃ニ
ハ地方銀行界ノ氣分モ大分明ルクナリ同時ニ銀行ニ對スル
世間ノ態度モ良クナツテ、茲二三ヶ月ハ預金ノ移動ハ下火
ニナツタ、又今残ツテ居ル預金ハ期限未到來ノモノカ多ク
無暗ニ引出スコトカ出來ナイ關係モアルガ兎ニ角銀行ニ對
スル世間ノ感ジモ大体安定シテ來マシタ、ノデ今迄預金ノ

引出ヲ受ケテ居タ銀行ガ此頃デハ預金ノ勸誘ニ努メテ居ル、先頃迄ハ預金ヲ集メルトイフコトハ怪シマレルダケデアツタカラ控ヘテ居タガ昨今ハ盛ニ之ヲヤツテキル、銀行ニヨツテハ各支店ヲ激勵シテ勸誘ニ努メテキルソシテ可成り成功シテ居ル模様デ或銀行ハ三月中ニ新規預金ガ八十萬圓アツタサウデ新規預金ガ集ツタノハ久シ振リダト喜ンデ居マシタ

堀越 埋 事

ソレハ東京ノ大銀行ノ支店デハナク地方銀行デスネ

平瀬門司支店長

サウデス

堀越 理 事

利息ヲ高クシテ勸誘スルノデスカ

平瀬門司支店長

利息ハ上ゲナイガ遠方ノ預金者ニハ二等ノ汽車賃ヲ出ストカ或ハ辨當代ヲ出ストカイフ風ニ客ヲ大切ニスル、ソレカラ一般ニ預金ノ減ルノハ居食ヒヲシテ居ル爲メデモアルガ、近頃目立ツノハ公金預金ノ残高ガ昨年ニ比シ非常ニ減少シ

堀越理事

タコトデアルガ中ニハ資金ノ借入ヲ申込ム市町村モアル位
デアル、之ハ最近税金ノ滞納ガ多イ爲メテ一般ニ國稅ハ納
メルガ地方稅ハ仲々納メナイカラデアル、縣、市、町、村
ト小サイモノ程税金ガ入りマセン、然シ大体カラ言ツテ銀
行ノ狀態モ之カラ先ハ良クナツテ行クノデハナイカ、有力
銀行ガ惡聲ヲ放ツコトハ近頃幾ラ少クナツタガ昨年十月、
十一月頃ハヒドカツタラシイ
惡聲トハ何カ

平瀬門司支店長

他ノ銀行ノ惡口ヲ言フノデス、預金者ニ他ノ銀行決算報告
書ヲ見セテ批評シタリ預金ノ勧誘員ガ他ノ銀行ノコトヲ惡
ク言ツタリスル、昨年ノコトダガ某支店長ガ警察部長カラ
注意ヲ受ケタトイフコトモアル

堀越理事

ソレハ大銀行ノ支店カ

平瀬門司支店長

惡聲ヲ放ツノハ大銀行デ地方ノ小銀行ガ放タレテ居ルノデ

堀越理事

ス。兎ニ角預金ノ勸誘ニ熱心デ地圖ナドモ參謀本部以上ノモノヲ持ツテ居マス

他ノ方面デハ金ヲ剩シテ居ルモノハナイカ

平瀬門司支店長

アリマセン、遊資ヲ回收シテ預金ヲ支拂ツテ居ル、中ニハ貸出ヲ回收シ或ハ有價證券ヲ賣却シテ居ルモノモアル

永池理事

炭礦ノ景氣ハ如何

平瀬門司支店長

労働者側ノ要求ハ待遇ヲ改善シテ呉レトイフノガ多イ、炭礦側デハ人員整理ヲ秘密ニワカラヌ様ニヤツテ居ル、例ヘバ蓄財ノアルトイフ様ナ者カラ整理シテ行ク、小礦區ヲ持ツテ居ルノハアマリヤラヌ、八幡製鐵ナドハ昨年ハ十八萬人デアツタガ今ハ十二萬人デ從來ハ自然減少デアツタガモウ今日デハ自然減少ハナイ様デス

永池理事

石炭ハ如何

平瀬門司支店長

良クアリマセン、相場ハ高イヤウニ言ツテ居ルガ實際ハ安

イ、申合せガアルノデ人ニ話ス時ハ高ク言ヒマス

堀越 理事 地方銀行ノ採リツ、アル措置如何

平瀬門司支店長 措置ハ無イノデス

堀越 理事 此間預金ノ利下ヲシタガソレニ依リ特ニ預金ガ減ルトイフ

様ナコトハナイカ

平瀬門司支店長 ソンナコトハアリマセン、大体私ノ方ハ安定シテ來テ居ル

シ利下ヲシタノハ都會地ノミデ郡部デハマダ利下ヲシテ居

ナイ又定期預金ノ期限ガマダ來ナイモノガ多イ關係モアル

永池 理事 田舎ノ銀行ニハ開店休業ヲシテ居ルモノハナイカ

平瀬門司支店長 開店休業ヲシテ居ル銀行ノコトハ聞キマセン、ガ解散整理

ノ出來又銀行ガチヨイチヨイアルヤウデス

堀越 理事 サウイフ銀行ニ預金ノ取付ガ起リハセヌカ

平瀬門司支店長 アルダラウト思ヒマスガ銀行法ノ猶豫期間ガ切レルマデニ

ハマダ大部間ガアルカラ今ノ處分リマセン

堀越 理事

勝田熊本支店長

勝出サンニ願ヒマス

私ノ方ハ特ニ悪イトイフコトモアリマセンガ今年ノ三月末
ヲ昨年ノ三月末ト比較シマスト三縣ヲ通シテ預金ハ七百五
十萬圓程減少シテ居マス、原因トシテハ一般財界ノ不況、
收入ノ減退、地方銀行ニ對スル不安ナドデアルト思ヒマス
農村收入ノ減退ノ結果トシテ直接銀行預金ガ引出サレルコ
トモアリ或ハ信用組合ニ對スル貯金ガ引出サレルコトモア
ルガ信用組合ハ所ニ依ツテ相當銀行預金ヲ持ツテ居ルカラ
間接ニ銀行預金ガ減少スルコトニナル唯市街地ノ信用組合
ハ割合ニ減リ方ガ少イ、ソレハ市街地ハ商人ガ多イノデ採
算ノ結果銀行カラノ流入ガアルカラデス預金ノ移動ハ市内
デハ微弱ナ様ニ見受ケラレル、郵便貯金ハ熊本デハ昨年三
月ト比較スルト九十六萬圓程^増加シテ居マス、之ハ郡村銀
行ニ對シ不安ヲ感ズルトイフ様ナコトガアルノデハナイカ

ト思ハレマス

鹿兒島縣デハ大銀行トイツテモ安田、十五、住友系ノモノ
デ、地方銀行ガ預金ノ七割ヲ占メテ居ルガ本年三月ト昨年
三月トノ地方銀行預金ヲ比較スルト三百四十萬圓程減ツテ
居ル、即チ八分方ノ減少デアルガ此内中央市場銀行系ノ地
元銀行ガ九十萬圓増加シテ居ル、郵便貯金ノ方ハ矢張り減
ツテ居ル、之モ主トシテ經濟不況ニ因ルモノデセウガ兎ニ
角鹿兒島デハ預金移動ノ趣ガ熊本トハ少シ違ツテ居リマス
宮崎ノ方ハ東京ノ銀行ハ一ツモ無ク鹿兒島ノ銀行ガ支店ヲ
持ツテ居ル、預金ハ地元銀行及他縣ノ地方銀行ノミニ付テ
見ルト二百五十萬圓減ツテ居ル、原因ハ農村疲弊ニ因ル收
入ノ減少デセウガ此外ニ東京、大阪ノ大銀行ヘ行クノモア
リマセウシ、幾分ハ農工銀行ヘ流入シテ居マス、ソレカラ
前途ノ見込デスガ繭ノ買入代金等デ金ガ要ルカラ漸次減少

堀越 理事

勝田熊本支店長

シテ行クデセウカ先ノ見込ハ付カズ樂觀ヲ許シマセン
地方銀行ノ探リツ、アル措置トシテハ大体自然ノ趨勢ニ委
セテ居マス、鹿兒島方面デハ政友系統ガ多イノデ漠然ト政
策的ニ農村ノ景氣ヲ良クセネバナラヌトイフ風ニ一般ニ考
ヘテ居ル、銀行デハ預金ヲ減ラスマイトシテ預金ノ勧誘ニ
努メテキルガ協定違反ハ見エヌ様デス、ソシテ二年位大銀
行ノ進出ヲ拒否シ度イト言ツテ居マス、又一ヶ月一回銀行
集會ヲ開キ地方銀行ダケ集ツテ大銀行ニ對抗シ様トシテ居
ル、貸出ノ回收ニ努メ堅實ナル方ヘ貸出スコトニ依リ預金
準備ノ充實ヲ圖ラウト皆考ヘテ居マス減配ヲスルト信用ヲ
墜ストイフ考ヘガアルガ大銀行サヘ思ヒ切ツテ減配シ手本
ヲ示シテ呉レ、バ之ニ追隨シテ行ク傾向デス

信用組合ニハ協定利率トイフモノガアルカ

ヨク存ジマセンガ無イ様デス

堀越 理事 利息ハ下ノ位カ

勝田熊本支店長 利息ハ随分高イ様デ七分カラ八分位ノモノモアリマス

堀越 理事 都會ノ銀行ノ預金ノ減リ方ヨリ田舎ノ銀行ノ減リ方が多イ

トイフノハ如何ナル譯カ

勝田熊本支店長 熊本ニハ第一、住友トイフ様ナ大銀行支店ガアルカラ減リ

マセン

堀越 理事 田舎ノ銀行トイフノハ土着ノ銀行カ

勝田熊本支店長 サウデス、食ヒ潰シノ減少デス

(永池理事ト勝田支店長ノ間ニ數字ニ付質問應答アリ)

堀越 理事 アナタノ方ハ大体減少傾向ハ著シイ方カ、止ツタ方カ

勝田熊本支店長 昨年以來ノ不安ニ因ル方ハ大分止ツタ様タガ食ヒ潰シニ因

ル自然減少ハマダアル様デス

堀越 理事 宮崎ニハマダ取付ハアルカ

勝田熊本支店長 ドウモ宮崎ニハ良イ銀行ガ無ク大銀行ノ支店ガ出テ行カヌ

程ノ所デスカラマダアルラシイデス

(堀越理事ト勝田支店長ノ間ニ二三質疑應答アリタルモ不明)

永池理事

米ハ動イテ居ルカ

勝田熊本支店長

大地主ハ賣惜ンデ殘シテ居ル様デス都會ハ割合景氣良ク料理屋デ閑イテモ案外良イ様デス

永池理事

熊本ト門司デハ前途觀ガ少シ違フヤウニ思フ

堀越理事

門司ノ方ハ多少良クナツテ來タトイフノデスネ

平瀬門司支店長

サウデス、不安氣分ガ減ツテ流言ハ聞カナクナリマシタ、

被害銀行モ良クナツタト言ツテ居マスソシテ預金ノ勧誘ニ出テ居マス

堀越理事

預金ノ爭奪ガ行ハレテキルノカ

平瀬門司支店長

爭奪デハナイノデス、只取ラレテ居タノデス此頃爭奪ニナ

ツタノデス

堀越理事

(其他堀越理事ト平瀬、勝田兩支店長ノ間ニ二三質疑應答アリタルモ不明)

デハ今日ハコレ位ニシテ明日ハ一時半カラ始メマス

(午後四時三十五分閉會)

第二日 (火曜日)

五月十二日 午後一時四十五分開會

總裁、副總裁、永池理事、堀越理事、中根理事、各支店長、各部局長、検査役及調査役出席

堀越理事 昨日ニ引續イテ地方ノ狀況ヲ伺フコトニ致シマス、宗像サ

ン、オ話シ下サイ

宗像福島支店長

昨日九州方面ノコトヲ承リマシタガ大体地方銀行ノ預金ノ

減少ハ私ノ方モ同様デ別ニ新シイコトヲ申上ゲルコトモア

リマセンカラ結局同ジ様ナコトヲ話シマスガ、福島支店ノ

關係スル各縣ノ預金ハ大体カラ見ルト昭和二年ニハ其前年

ヨリモ増加シ、昭和三年カラ四年、五年ト幾分ツツ減少シ

テ居マス、其中デ最モ目立ツハ福島縣ニシテ現在ノ預金ハ

四千萬圓シカナイカラ昭和二年ノ八千萬圓カ丁度半分ニ減

少シタノデアリマス、然シコレハ特別デ他ノ宮城、岩手、山形ハ是程著シイ變化ハナイガ大体ハ昭和二年ハ前年ヨリモ増加シ、三年及四年ハイクラカ減少シタ形勢が見エマス而シテ何故減少シタカト云フコトハ其對策ヤ前途等ヲ觀察スルニモ關係ガアリマスガ、根本ハ矢張り昨日ノオ話ノ様ニ一般ノ不景氣ト銀行ノ不安ノ二點ニ歸着スルノデアリマス、一般ノ不景氣ハ全國的デアルカラ特ニ申上ゲルコトハナイガ、金解禁ガ直接預金ノ減少ニ影響シ、其後ノ財政、經濟及金融ニ關スル政策等ニ依リ預金ノ増加ヲ抑へ、或ハ一般ノ銀行等モ信用ヲ收縮シ、貸出モ減ジテ、預金増加ノ傾向ヲ抑ヘテ居ルコトガ第一ノ點デアリマス。第二ノ銀行ノ不安ト云フ言葉ハ福島縣ニハ最モヨク當テハマルノデスガ、其他ノ各縣モ個々ノ銀行ニ付テ其**バランス**ノ數字ヲ**アジャスト**スルト明カニ現ハレテ居マス

堀越理事

八千萬圓が四千萬圓ニ減少シタノハ無クナツタ銀行モ入ツテ居ルカ

宗像福島支店長

入レテアリマス、ソレデ數字ノ上デハ預金ガ昨年ニ比較シテ百萬圓減少シタトカ、又千萬圓減ジタトカ云ヒマスガ形ノ上デハ必ズシモ預金ノ減少ガハツキリシテ居マセン
地方ノ銀行ハ今迄其經營方針トシテ預金ノ遞増スルコトヲ前提トシテ居タノデスガ、今日デハ増加シナイノミナラズ却ツテ減少スル位ダカラ地方銀行ノ苦シイノが目立ツテ來タ様デス

ソレカラ將來之ヲドウスルカト云フコトデスガ、此將來ノコトヲ考ヘルノハ結局今ノ原因ヲ繰返シテ云フコトニナリマスガ、我國デハ通貨ノ膨脹、信用ノ擴張等根本政策ガ變レバ兎モ角、現状ノ儘デ收縮スル形勢ニアルトキハ一般的ニ見テ地方金融界ニユトリガナクナリ、預金ノ増加ハ豫想

出來兼ネルノデアリマス、只茲ニ問題トスベキハ一度中央ニ集ツタ金ガ地方ニ還元サレテ來ルト云フコトデス、例ヘバ昨年問題トナリマシタ預金部ノ農村魚村資金、米穀應急對策資金、中小商工農業者應急資金、郵便年金貸付金、失業救濟事業資金等ノ低利資金ノ融通ヲ受ケタルモノガ相當アリマス、即チ福島縣デハ四百二十萬圓デ其内實行シタモノガ二百七十萬圓、宮城縣デハ五百八十萬圓デ其内實行ガ三百三十萬圓、山形縣デハ五百九十萬圓其内實行ガ三百七十萬圓、岩手縣デハ三百萬圓、其内實行ガ百十萬圓ト云フ様ナ譯デ、預金部其他政府關係カラ地方ニ昨年末カラ相當ノ金ガ入ツテ居マス

ソレカラモウ一ツ地方ヘ金ガ入ツタノハ勸業銀行ヤ農工銀行ガ中央デ債券ヲ募集シ、又縣廳ガ日本興業銀行カラ借りタ金ニシテ地方ヘ入ツテ來タモノガ相當地方ノ金融界ヲ濕

シテ居ル様デス。コレ等ハ地方トシテ見レバ緩和策デ、將來コレガドノ位入ルカト云フコトガ地方銀行ノ預金ノ増減ニカナリ影響アルモノト考ヘラレマス、故ニ地方銀行ノ預金ノ消長ハ第一ニハ日本全体ノ景氣、不景氣及政府ノ種々ノ政策ノヤリ方ニ因ルモノニシテソレガ地方ニ最大ノ影響ヲ及ボスモノト考ヘラレマス

次ニ考フベキコトハ中央ノ特殊ノ金融機關カラ地方ニ出ル金ガ、ドノ位地方ノ金融ヲ緩和スルカ、就中勸銀ヤ農工ヤ保險會社又ハ信託會社等ガ地方ニ金ヲ出シ、之ガ地方ニ強ク響イテ居ルコトデアリマス

而シテ現在ノ地方銀行ハ大体二ツニ分レテ居マス、其一ハ預金ハ減少スルガ手許ハ好クナツテ居ルモノニシテ、ソレハ從來ノ固定貸ガ肩代リサレテ百萬圓、二百萬圓ト云フ多額ノ金が入ツテ手許準備ガ非常ニ好クナリ、中央ノ好イ銀

行ノ様ニ小サイナガラモ遊資ニ困ツテ居ルノデアリマス。他ノ一ツハ預金ガデリデリ減少シ、其對應策トシテ貸出ノ回收、預金ノ吸收ニ努力スルガ到底追付カズ、故ニ種々細工シテバランスノ上デハ目立タヌ様ニシテ居ルガ手許準備ハ隨分惡イモノガアリマス

今日地方銀行ハ好イ銀行モ收支ガ立たズ、遊資ヲ何處カヘ預金ニシヤウト預ケ先ヲ探シテ居テモ好イ預ケ先ガナク、又假ニ地方ノ或事業ガ好イトシテモ資金ノ需要ガナク、自分ノ銀行デハマネージスルコトガ出來ナイ、然ルニ小口ノ貸出ハ信用組合ノ融通ガ安イノデ結局板バサミトナリ、其經營ガ頗ル困難トナリ、又惡イ銀行ハ常ニ預金減少ニ脅カサレ、從來ハ預金ヲ集メテヤツテ來タノガ今デハソレモ出來ズ、貸出ノ回收モ意ノ如クナラズ、勢ヒ有價證券ヲ處分シナケレバナラナクナリ、斯クシテ地方銀行ノ經營ハ非常

ニ困難トナツテ來タノデアリマス

堀越理事 保險會社カ地方ニ金ヲ出ストハドンナモノカ

宗像福島支店長 大キナ電氣會社等ニ貸付ケテ居マス

堀越理事 信託會社ハ如何、單名手形デヤルノカ

宗像福島支店長 單名手形トハ限リマセン、住友信託等相當貸出シテ居マス

永池理事 舊債ヲ借換ヘルノダラウ、其金ハ又中央ニ歸ルノダ

宗像福島支店長 中央カラ地方ニ出タ金ガドノ位、地方ニ止ルカ判ラナイ

ガ好イ銀行ニハ残りマス、然シ惡イ銀行ハ肩代リ等シテ一

時ハ安心シテモ亦ダンダン金ガ出テ駄目ニナリマス

永池理事 郵便貯金ニ行ツタノが大分アルダラウ

宗像福島支店長 福島縣デハソレガ最モ顯著デ二千萬圓ノ郵便貯金ガ五千萬

圓トナリ、他方八千萬圓ノ銀行預金ガ四千萬圓ニ減少シテ

居マスカラ大部分ハ郵便貯金ニ行ツタト云ヘマス、岩手、

宮城デハ其程デモナク、預金ノ減少モ亦其レ程目立ツテ居

永池理事

マセンが大勢ハ矢張り郵便貯金が増加シ銀行預金ガ減少シ
テ行キマス
全國デ六億増加ト云フノダカラ其内ニハ北國モ入ツテ居ル
譯ダ

宗像福島支店長

ソレデ前ニモ述べタ様ニ銀行預金ハ昭和二年ニハ幾分増加
シ、其以後ハ次第ニ減少シテ居マス、コレハ個々ノ銀行ニ
付テ見レバマチマチデスガ大數カラ觀察スルト此傾向ガ現
ハレテ居ルノデス、而シテ將來ノコトヲ考ヘマスト日本全
体ノ經濟界、金融界ガドウナルカト云フコトヲ見ナケレバ
ナラナイト思ヒマス、預金ノ消長ハ一般經濟界ノ消長如何
ニ大ナル關係ガアリマス。ソレカラ銀行ノ不安デスガコレ
ハ福島縣ハ其標本トモ云フベキデス、即チ福島縣デ預金ガ
減少スルノハ主トシテ銀行ノ休業ニ基イテ居ル、即チ銀行
ガ店ヲ閉メルト相殺ヲドシドシヤルカラ千萬圓ノ預金モ忽

永池理事
堀越理事

宗像福島支店長

チニシテ二、三百萬圓ニナリ、假令開店シテモ其銀行ニハ預金ヲセヌカラ預金ハ減少スル一方デス、故ニ預金ノ減少ハ一般ノ原因ニ因ルト銀行ノ不安ニ因ルト何レが大ナルカハ數字的ニハ申サレマセンガ我々ノ感ズル所デハ銀行ノ不安ノ方が大デアル様ニ考ヘルノデアリマス

郵便貯金ノ増加ハ銀行ノ不安ニ基クノダ

福島デハ店ヲ閉メタモノ以外ノ銀行デモ預金ガ減少シマスカ

福島縣ノ銀行ハ何レモ減少シテ居マス、現在デハ預金ヲ受入レテモ其使途ニ困ツテ居ルノデス、ソレカト云ツテ大藏證券ハ東京、大阪、名古屋等ノ銀行ノ様ニ思フ様ニハ持つツコトガ出來ズ、國債ヲ買フニシテモ現在ハ高イカラ持ち得ズ、若シ値ガ下ツタラ買イ度イト云ツテ居リマス
ソレカラ定期預金ハ最低五分ニ下ゲマシタガ今デハ金ノ使

永池理事

途ガナイタメ、愈々苦シクナツテ居マス
私ノ方デ小サイナガラモ好イト思フ銀行ガ三、四アルケレ
ドモ皆預金、貸出共ニ減少シテ居リマス、コレが大勢デス
銀行ノ收支計算ハドウカ、配當ヲ減ラストカ、又經費ヲ節
約スルトカシテ居ルカ

宗像福島支店長

マア、ソナ所デス、然シ此先キドウスルカト云フニ收支
計算ハ苦シイ様デス、或銀行ノ如キハ本當ニ五分ノ配當ス
ルニハ非常ニ節約シナケレバ出來ナイ位デ收支計算ノ好ク
立ツ銀行ハ寧ロ例外的デス、悪イ銀行ハ目先キ好イ收入ガ
アツテモ手許準備ニ脅カサレテ居ル位デスカラ何トカシテ
人心ヲ安心サセ度イト云フコトが必要デス
要スルニ地方デハ一ノ山ヲ越セバモウソレガ頂上ダト思ツ
テ居ルト、未ダ後カラ後カラト山ガアルト云フ様ニ、此半
期ヲ越セバヨイト思ツテモ、愈々越シテ見ルト未ダサウモ

永池理事

行カナイト云フ具合デ、結局何時景氣が好クナルカト毎期
毎期心配シテ居ルノデス、例へバ昭和六年ノ上半期ハ無事
ニ濟ンデモ下半年期デハ安心ガ出來ズ、慢性的ニ好イ銀行モ
悪イ銀行モチリチリト其經營ガ困難ニナツテ來マシタ
貸出ノ方ハ全体デハ大キイ金額ノ減少ヲ示シテ居ナイガ、
コレハ勸銀ノ支店ヤ農工銀行ノ勘定ガ入ツテ居ルカラデー
ツーツノ銀行ヲ調べテ見ルトカナリ減少シテ居マス

堀越理事

地方ノ銀行ガ積立金ヲ崩シテ資本金ヲ大キクシタノモ收支
ヲ難儀ニシタ原因ダ
新銀行法ニ依リ合併カ解散ヲシナケレバナラナイ銀行ガア
リマスカ

宗像福島支店長

アリマス、然シ其爲ニ不安ニナツテ預金ヲ引出ス程神經過
敏デハナイ様デス。銀行當局者ハ之ヲ非常ニ心配シテ居ル
様ダガ果シテ事實カ否カ判リマセン

堀越理事

預金減少ノ第二ノ政府ノ財政々策及金融政策ガ預金ノ増加ヲ抑ヘルト云フノハ如何ナル事カ

宗像福島支店長

ソレハ中央ノ政府ヤ地方ノ自治團體ノヤリ方デ地方銀行ノ預金ノ増減ガ左右サレルト思フノデアリマス、緊縮政策ヲ善イトカ惡イトカ云フノデハナイガ、地方モ同様ノ態度ヲ執レバ預金ノ増加ヲ抑止スルト思フ、故ニ今日ノ經濟界デハ預金ノ増加ハ失業救濟等ノ資金ノ關係ヲ除ケバ餘リナイト思ハレマス、今日迄預金ノ増加シタモノガアルノモ國民ノ貯蓄ガ増加シタカ否カ疑問ニシテ寧ロ財政々策、金融政策ニ依リ通貨ガ收縮シタリ、預金ガ増減シタリスルノハ當然ダト思ヒマス

堀越理事

金融政策トハ如何

宗像福島支店長

金融政策ト云フノハ我國ニシテモ假リニ信用ヲ膨脹サスコトハ出來ナイガ例ヘバ日本銀行ガ通貨膨脹的ノコトヲヤレ

バ預金モ増加スルダラウシ緊縮的ノコトヲヤレバ預金ハ減少スル外ハナイ

昨日總裁ニオ尋ネシタノデスガ比較的安安全ナル通貨政策ハ外債ヲ募集スルコトガ最も好イト思フ、外資ヲ輸入シテ之ヲ宜ク使フコトが出来レバ誠ニ結構ダト思フノデスガ理屈ハサウデモ貸スモノハ無イカモ知レマセン

堀越理事

特ニ預金ノ増加ヲ抑ヘル程緊縮政策が行ハレテ居マスカ

宗像福島支店長

ソレハ一般ニ、斯ル政策ニ馴レテ居ルカラ左程感ジナイガ中央ノ財政々策、金融政策ニ依リ金融界ノ大勢ヤ信用收縮ノ有様ガ**アリアリ**ト現ハレ、預金ノ減少ニモ影響シテ居ルト思ヒマス

堀越理事

近頃兌換券ノ減少スルノハ無理ニ減少セシメテ居ルノデハナイ、金ガイラナイカラデアル、只昭和二年ニ特融ヲ出シタカラソノ回收ニ努メテ居ルノデアル、ソレガ通貨ノ收縮

宗像福島支店長

ニナルカモ知レナイガ其レ以外ニハ特ニ金融ヲ締メルト云
フコトハセズ、只成ルベク膨脹シナイ様ニ考ヘテ居ルノミ
ダ

補償法ニ依ル特融ノ回收ハ地方ノ金融ニ相當影響シテ居マ
ス、勸銀及農工ヘノ肩代リノ内デモ金額ハ少ナイガ特融ノ
肩代リモアル様デス、斯様ナ次第デ地方銀行ノ經營方針ハ
餘程變ツテ居ル

堀越理事

ソノ對策ニ付テハ既ニ話サレテ居ル

宗像福島支店長

好イ銀行ハ預金ガ減少スルコトヲ恐レテ居ナイガ收支ヲ宜
クヤルコトヲ考ヘテ居マス、サウデナイ銀行ニテモ預金ノ
減少ヲ齟齬セズ、如何ニシテ中央ヨリ金ヲ持ツテ來ルカト
云フコトヲ考ヘテ居リマス
預金ノ減少ト收支計算ノ好イ惡イトハ別箇ノ問題ダト思ヒ
マス

堀越理事

小林秋田支店長

ソノ次ニハ小林サン

秋田支店ノ管内ハ青森ト秋田ト庄内デ其各地方別ニ預金ヲ
本年三月末ト昨年三月末トヲ比較シテ見マスト青森デハ七
百七十一萬三千圓ノ減少デ普通預金總額ニ對シ一一%ニ當
リ、秋田デハ百七十六萬圓ノ減少デ二・一%、庄内デハ二
百萬圓減少デ七%、結局合計一千百五十萬圓ニシテ七・一
%ノ減少ヲ來シタ譯デス、青森縣ノ預金ガ一一%モ減少
シタ理由ハ昨年十一月八日銀行ノ休業シタ爲、銀行ニ對ス
ル不安ガ多カツタモノト考ヘラレマス、ソシテ郵便貯金ガ
秋田縣ニ比シ百八十萬圓増加シテ居マス。秋田ノ取引先八
行ニ付テ之ヲ見マスト預金減少額三百十五萬圓デ四・三%
ニ當リ平均ノ減少割合ヨリモ其率が少ナイノデアリマス、
今之ヲ預金ノ種類別ニ見ルト通知預金、特別當座預金及當
座預金ノ減少ガ著シク、定期預金ノ減少額ハ少ナイノデア

リマス、取引先ニ於テハ定期預金ハ寧ロ増加シテ居リマス
預金減少ノ原因ハ矢張り一般ノ不況ニ因ルハ勿論ナルガ秋
田管内ノ主タル産業ハ米ト木材ニシテ是等ガ昨年來安イカ
ラ夫々收入ガ減リ預金ヲ喰ヒ込ンデ居ルノガ大原因デス、
定期預金ノ比較的減少シナイノハ從來ノ當座預金者ガ定期
ニ振替ヘタ者ガアルト聞イテ居マス、又農村ノ金貸主ガ回
收困難ノ爲、新規ノ貸出ヲ見合セ、之ヲ定期預金ニシタモ
ノガアリマス

今後ノ預金ノ趨勢デアリマスガ本年ハ昨年ニ比シ約千萬圓
減少シテ居ルガ大体年始メノ一月、二月、三月ハ預金ノ減
少期デ此ノ間ニ約千百萬圓減少シ昨年ト同様ノ傾向ヲ辿ツ
テ居マス、ソシテ四月、五月ニナレバ米ノ代金ガ入ツテ來
ルカラ今後ハ特別ノ事情ナキ限り昨年同様ト考ヘラレマス
一方貸出ハ管内全体ヲ通ジテ昨年三月末ト本年三月末ト比

較シテ三百九十八萬圓即チ約三%ノ減少デアリマス、斯ノ如ク貸出ノ回收ハ預金ノ減少ニ伴ハナイカラ各銀行ハ有價證券ヲ賣却シタリ借入金ヲ増加シテ賄ツテ居ル様ナ次第デス、今後コノ傾向ガ續ク場合ノ對策ニ付テハ餘リ考ヘテ居ル銀行ハナイ様デス、^農作デモアツテ物が賣レ、バ好イダラウト思ツテ居ル位デ只成行キニ委セテ居ル様ニ見エマスコノ對策トシテハ實際何モナイノデスガ先程福島支店長ガ云ハレタ様ニ勸業銀行ノ支店、出張所ガ青森、秋田、鶴岡ノ三ヶ所ニアリ之ニ借換シタモノガ秋田デハ八十八萬七千圓、青森デハ四十六萬七千圓、鶴岡デハ十五萬四千圓合計百五十萬圓位アリマスガ結局對策トシテハ銀行ノ手許ニ困ルカラ有價證券ヲ處分スルヨリ外方法ガナイデセウ、借換ハ勸銀ノ擔保價格ガ低イカラ困難ダト評判サレテ居ルガ短期ノモノハ相當借換モ出來、只長期ノモノガ六ヶ數イ様デス

ソレカラ先程オ話シノ銀行法ニ依ル無資格ノ銀行ハ三ツアリマスガ其内ノ能代銀行ハ今度百萬圓ニ増資シテ合資會社ヲ株式組織トナシ、青森ノ金木銀行ハ資本金二十五萬圓デ未ダハツキリセズ、他ノ五業銀行ハ殆ド睡眠狀態デ合併モ出來ズコノ儘解散スルコト、思ヒマス

永池理事

秋田ハ米ガ出タカ、政府ノ買上ゲヲ受ケタカ

小林秋田支店長

鶴岡デハ滿倉デス、政府ノ買上ゲモ相當アリマシタ、然シ

永池理事

今迄ハ米ガ賣レナカッタノカ

小林秋田支店長

値段ガ安イカラ控エテ居タノデス

永池理事

然シ米ガ一番割合ガヨイ、近頃十九圓位シテ居ルネ

小林秋田支店長

最低生産費ガ十九圓掛リマスカラ十九圓デハ到底駄目デス

堀越理事

有力銀行ノ預金減少ハドウデスカ

小林秋田支店長

善イ銀行ハ遊資ニ困ツテ居テ、其處分方法ヲ考ヘテ居マス

國債ハ收益ガ少ナイ爲カドウモ喜バズ、成ルベク社債ノ優
良ナモノニ放資シ様トシテ居リマス、然シ大部分ハ同業者
預金ト爲シ、秋田デハ同業者預金ガ七百萬圓程アリマス
堀越理事 小サイ銀行ハ如何

小林秋田支店長 一番困ルノハ五業銀行デス

堀越理事 ソンナ銀行ハ問題外ダ

小林秋田支店長 預金協定ハ守ラレテ居マスガ中ニハ協定ヲ破リ預金ヲカキ

集メテ居ルモノモアリマス

堀越理事 先程ノオ話デハ預金ハ減少スルガ其動キ方ガ同ジ步調ダト

云フコトハドウ云フコトカ

小林秋田支店長 昨年ト同ジ步調ニ減ツテ居ルト云フコトデス

堀越理事 材木ハ上ツテ居ルネ

小林秋田支店長 上ツテ居マスガ左程ノコトデモアリマセン。近頃又下リマ

シタ。大体ハ大シタ動キデハアリマセン、賣レ行キモ餘リ

善クナイ

堀越理事 材木業者ハ比較的好イ様ダ

小林秋田支店長 マア普通ニヤツテ居リマス、政府ノ拂下ゲハ昨年ト同額位
デス

堀越理事 秋田縣下デハ材木ノ如何ガ一般ニ影響ヲ及ボスカ

小林秋田支店長 餘リ影響アリマセン、政府ノ拂下ゲハ多イガ私有林ヲ伐ラ
ナイカラ製材業者及當業者ノ懐具合ニ關係アルノミニシテ
他ニハ影響アリマセン、矢張り米ガ主デス

堀越理事 米ガ賣レルト今後ハ預金モ減ラナイダラウ

永池理事 米ハ軟質米カ

小林秋田支店長 サウデス、然シ鶴岡デハサウデアリマセン

堀越理事 ソレデハ君島サン、オ話し下サイ

君島岡山支店長 私ノ方ハ地方銀行ガ少ナク只中國銀行ガ主ナルモノデス、
先日考査部ノ毎月末ノ日計表ニテ調べテ見タノデスガ中國

銀行ノ預金ノ減少ガ著シイ。地方銀行全体ヲ通ジテ其預金ノ減少ヲ見ルト昨年十二月九千二百萬圓デアツタモノガ、四月末ニハ八千六百萬圓トナリ六%ノ減少デアリマス、其理由ハ主トシテ中國銀行ノ合併ニ依リ高率預金ヲ整理シタ爲ニシテ、從來ハ農工銀行ヨリ預金ガアリマシタガ今デハ其レガ引出サレ、又信用組合ノ預金モ引出サレタノデス、其他定期預金ヲ引出シテ有價證券ヲ買ツタ者モアリ、貸出ト相殺シタモノモアリマス。不信用ノ爲預金減少シタモノハ合併後ニ於テハ認メラレナイト云ツテヨイ位デス、三月及四月ニハ特別ニ減少スルコトナク、五月カラ六月ニカケテ少シ減少スルカモ知レナイガ、預金ノ減リ方ハ大体一段落デ、此邊ニテ落付クモノト考ヘマス。預金協定ハ今後ハ之ヲ嚴守スル様ニシテ斷ジテ違反セヌ様決心ヲシテ居マス將來ハ出來ル限り大整理ヲ爲スベキデスガ、實際ハ仲々困

難デ宜クヤラヌト却ツテ失敗スルノデス、例ヘバ支店ヲ廢止スルト其町村ノ人々が騒イデ喧シイコトヲ云ヒ、又使用人ノ整理及手當ノ引下等モ其止メサセラレタ者が惡宣傳ヲスルカラ困ル場合ガアリマス、然シ整理ヲシテ居ルト云フコトハ預金者ニ對シテ聞エガ好イカラ現在デハ大分ヤツテ居ルモノモアリ、今後ハ大急ギデ之ヲ爲シ預金減少ノ對策トシテ居ル様デス

預金ノ協定ハ二月二十日ニ定期預金ヲ四分五厘ニ下ゲタカラ四月ノ利下ニハ追隨シマセンデシタ、尤モ有力銀行ノ支店以外ハ四分二厘ニ迄追隨スルコトハ無理デ自分達ノ算盤ガ採レナイカラ、現在デハ到底利下ハ出來ヌ状態デス、故ニ四分五厘ヲ嚴守スルコトニシテ居マス、協定規約ニハ四分五厘以下トアルカラ引下ゲ度イモノハ勝手ニヤレト言ツテ居テ、表向ハ引下ゲヌコト、シテ、此半季ヲ越エ、今後

ノ狀勢ガ變レバ又考フト言ツテ居リマス、今迄ハ協定ヲ守
ラスコトガ當然ノ様ニ考ヘテ居リマシタガ今後ハ絶對ニ守
ル様ニ努力スルコト、シテ居ルノデス

高松ノ方ハ他ト違ヒ昨年末ト本年四月末トヲ比較シマス
ト百萬圓ノ減少ニシテ、即チ總預金三千百萬圓ガ三千萬圓ト
ナリ丁度三分四厘ノ減少デアリマス、高松ハ毎年三月、四
月ハ減少期デスカラ、昨年四月末ト今年四月末トヲ比較ス
ルト殆ド同ジデス。預金減少ノ原因ハ公金預金ノ減少及納
税ノ關係ラシイノデス

香川縣全体ハ預金ノ減少ハ少イガ、コレハ香川縣ハ財界ノ
影響ガ存外少ク他ノ地方ヨリモ不景氣ノ度ガ餘程樂デア
ル爲ニシテ、今デハ金ノ使ヒ途ニ困ツテ居ル位デス、考査部
ノ調べニ依リマスト變ナ金ノ使ヒ方ヲシテ居ルモノガアル
様デス、例ヘバ大阪邊ノ信託會社ニ貸付ケ、其手カラ更ニ

永池理事

貸付ケルト云フ方法ヲ探ツテ居ルサウデス。預金ノ減少ハ全ク心配アリマセン。預金ノ協定利率ハ四分八厘デスガ、勸銀ノ支店デハ四分五厘以外トデナケレバ預ラヌト言ツテ居リマス

君島岡山支店長

岡山ノ方デハ高率預金ノ整理ハドウカ
高率預金ハ預ラナイコトニシテ居マス、ソレカラ従前ハ同業者預金ガ百三十萬圓モアリマシタガ今デハソレヲ何處ヘヤツタカ判リマセン

永池理事

君ノ考ヘデハ預金減少ハ心配ナイカ

君島岡山支店長

心配ハナイト思ヒマス、只自家資金トシテ三月、四月ニ引出スモノガ幾分大キイ位ノモノデス、然シコレモ高松デハ殆ドアリマセン

煙草ノ培植ハ例年ヨリ多クナリマシタ、今デハ鹽及煙草ノ賠償金ハ増加シテ居リマス

堀越理事 米ハ如何

君島岡山支店長 米ハドコモ同ジデス。煙草ガ年々増加シマス、近頃デハ西

洋種ガ多クテ日本煙草ハ餘リヤリマセン、煙草ノ收入ハ一
反當リ百五十圓モアリ非常ニ有利デス

堀越理事 香川縣ハ好イトシテ、岡山ノ方デハ預金ガ減少シタカ

君島岡山支店長 中國銀行ハ減リマシタ、他ノ銀行モ大体減ツテ居リマス、

増加シタノハ住友ノ支店位ノモノデス、減少ノ割合ハ昨年
九月ニ比シテ三分位ノモノデス

堀越理事 次ニ柏木サン

柏木廣島支店長 廣島縣ト愛媛縣トニ付テ申上ゲマスガ廣島縣デハ預金ノ減

少ハ問題アリマセン、藝備銀行ハ本年三月末ト昨年三月末
トヲ比較シマスト六十五萬八千圓ノ減少デ今期ニ入ツテカ
ラハ少々増加シテ居リマス其他ノ四行中二行ハ矢張り増加
シ、他ノ二行ハ減少シテ居マスガ格別ノコトアリマセン

コノ四月十八日ニ吳ノ工廠デ退職者ニ共済組合カラ現金デ二百五十七萬三千圓、公債デ三百二十七萬千圓ヲ拂ヒ、ソノ公債ヲ證券業者ガ買ツタモノガ百九十萬二千圓アリマスカラ現金ハ丁度四百五十萬圓程拂出サレタコト、ナリ、コレガ爲ニ郵便貯金ガ百萬圓、貯蓄預金ガ二十萬圓、藝備銀行ガ九十二萬六千圓、吳銀行ガ三十五萬圓ノ預金増加ヲ來シマシタ

堀越理事

柏木廣島支店長

廣島縣ノ銀行デハ預金ノ減少ハ問題デハナイガ寧ロ收益ノ減少ガ問題デス、藝備銀行ノ預金利子平均ガ一分一厘、預金ノコストガ四厘位デ貸出ノ利子平均ガ二分デスガ安ス過ギルカラ平均一厘位殖ヤサウト言ツテ居ル、其他支店モ整理シ又停年制度ヲ實行シ人員ヲ減少スルト云ツテ居マス
停年制度ハ今迄ハナカツタカ
アツタノデスガ實行シナカツタノデス、本年五月カラ五十

五歳トシテ實行シマス

愛媛縣ハ住友ノ支店ガ別子ノ銅山ノ爲ニアリマス。其他ニ藝備ノ支店ヤ四國銀行ノ支店ガアリマスガ是等ヲ除イテ土着ノ銀行ニ付テ見マスト本年三月末ノ預金ト昨年三月末トヲ比較シマスト六百八十九萬二千圓ノ減少ニシテ預金總額七千二百萬圓ニ對スル八%減少ト云フ割合デス、其内鐵道會社ガ住友信託ヘ社債ヲ二百萬圓償還シタモノヲ含ンデ居マスカラ其レヲ除クト六%ノ減少トナリマス

愛媛縣ハ前途ヲ悲觀シ居リ、前回ノ預金利下ヲモ見セタ位デス、現在ノ協定利率ハ松山地方デハ五分二厘、今治デハ五分三厘、大洲デハ五分四厘、乙種ガ五分七厘デス預金減少ノ原因ハ銀行ノ信用ガ落ちタ爲、郵便貯金ヤ大銀行ノ方ヘ行キ、又證券ヲ買ツタモノガアルノガ主ナルモノデス、愛媛縣デハ郵便貯金ガ一年間ニ三百六十九萬千圓増

加シ、愛媛縣ノ藝備銀行、四國銀行、農工銀行、貯蓄銀行ハ皆預金ガ増加シテ居マス

證券買入ノ傾向ハ著シイ、藤本ノ如キハ一年間ニ八十萬圓モ賣込ンデ居リマス

廣島デ問題ニシタ處ノ不動貯金ガ預金ノ協定ガナイ爲、高イ利子ヲ以テ一年間三百萬圓モ預金ヲ増加シ、大イニ脅威ヲ感ズルト云フ話シデス

銀行ノ信用ガ落ちタノハ缺損ヤ不良貸ガ外部ニ洩レ、又不動産、有價證券ノ値下リデ内容ガ悪化シタ爲デ、尙其他ニ銀行ガ互ニ中傷スルコトガアリマス、又或地方デハ郵便局長ガ郵便貯金ヲ増加スルタメニ銀行ヲ悪ク言ヒ觸ラシ、村會議員ガ或銀行ガアブナイ等ト言ヒ、隨分揉メタコトガアリマス、又銀行ノ擔保處分ガ評判ガ悪イ、或銀行ノ如キハ擔保處分ヲシナイカラト云フノデ噂サレタモノモアリマス

次ニ農村ノ疲弊ニ依リ收入ガ激減シ、預金ヲ喰ヒ込ムモノガアリマス、此傾向ハ主トシテ山間ノ養蠶地方ニ多ク、藝備銀行モ山間部ノ支店ノ預金減少ガ著シイ、又喰ヒ込ミノ爲信用組合ノ貯金ヲモ引出スモノガアリ、愛媛縣デハ信用組合ノ貯金ガ四年末ニ二千七百七十三萬四千圓アツタガ五年末ニハ二千六百六十四萬千圓トナリマシタ。五十二銀行ノ預金ハ一年間ニ十九萬七千圓ノ減少ヲ來シテ居マス信用組合ノ状態ガ悪クナリ支拂停止ヲ爲スモノガアツテ銀行ガ其卷添ニ遭ヒ預金ヲ引出サレタモノガアリマス。信用組合カラ引出サレタ金ハ銀行預金トナルモノモアルが大抵ハ郵便貯金トナル、其他ノ預金減少ノ原因ハ公金預金ノ減少ニシテ、愛媛縣廳ノ如キハ預金ヲシテ居タガ近頃デハ反對ニ借入金ヲシテ居ル様ナ有様デス、築港補助金ノ如キモ亦前ニハ預金トナツテ居マシタガ今デハ之ガ無クナリマシ

タ

貸出ノ回收モ預金ノ減少ニ影響ガアリマス、藝備銀行ノ貸出回收百二十萬圓ニナリマスガ、ソナモノが大分影響シテ居ル様デス

預金減少ノ對策ハ先ツ銀行ノ信用ヲ高メルコトデ、ソレガ爲ニハ十分整理ヲシタリ、合併スルコトガ望マシイ思ヒマス、松江デモ感ジタノデスガ、愛媛デモ其計畫ヲシテ居ル銀行ガアリマス。先達大洲銀行ガ資本金ヲ半減シテ三百五十萬圓ヲ百七十五萬圓ニ致シマシタ、其際株主ニ拂戻シタ金額ハ二十六圓宛デ時價ヨリ高ク買ツテ貰ツタコト、ナリ株主ハ非常ニ喜ンダ。減資後其銀行ノ株ノ値ガ上レバ好イガ内子銀行ノ減資ノ場合ハ上ラナカッタノデ心配シマシタ理屈カラ云ヘバ減配ヤ支店ノ整理ハ好イト思フガ減配ハ株價ガ下リ信用ニ影響スルカラ考ヘモノデアル、或縣又ハ或

市町で一齊ニヤレバ結構ダト思ヒマス、支店ノ整理モウツ
カリスルト内容不良ノ誤解ヲ受ケ、地方ノ評判ヲ悪クスル
又支店ヲ廢止シタ地方ノ貸出回收ガ困難トナル恐ガアル
ソレカラ愛媛縣デハ預金減少ノ傾向ノ對策トシテ利下ヲ見
合セタ、廣島縣デモ預金ノ利下ニ依リ資金ヲ證券化シタモ
ノガアル

藝備銀行デハ收益減少ノタメ預金ノコスト引下ゲ^{ヨウト盛ニ}利
下ヲ主張シテ居ルガ廣島縣内デハ四分六厘ヲ四分五厘ニ下
ゲルノハ仲々六ヶ敷イ、然シ市内デハ四分四厘デ折合ツテ
居ルガ郵便貯金ノ方ニ行クノヲ餘程心配シテ居ル様デス、
大阪ノ大銀行ノ支店ハ藝備銀行ノ二厘ノ勉強率ヲ不服ニ思
ツテ居ル、吳銀行ハ四分七厘ガ一杯デ四分六厘ニ下ゲルコ
トハ死活問題ダト言ツテ居ル

農村ノ疲弊ハ其振興ヲ待ツヨリ外アリマセン

堀 越 理 事

結局廣島縣デハ問題ナイ譯デスネ

柏木廣島支店長

コストヲ下ゲルヨリモ預金ノ減少ガ差當リ問題デス、ソレ

堀 越 理 事

カラ證券業者ノ賣込ガ善クナイ
預金利子ハ下ガル傾向ガアルダラウ

柏木廣島支店長

今ノ處松山デハ五分二厘デス

堀 越 理 事

四分二厘ニスルコトハ困難カ

柏木廣島支店長

ソレハ問題ニナリマセン、然シ廣島市デハ四分二厘ニマト
マリサウデス

堀 越 理 事

廣島縣ノ海外出稼人ハ如何

柏木廣島支店長

年々六百萬圓カ七百萬圓位入ツテ來ルノデスガ近頃ハ減リ
マシタ

永 池 理 事

預金ヲ引出シテ公債ヲ買フカ

柏木廣島支店長

ソレハ餘リ問題^ニシナイガ五十二銀行ノ如キハ預金ガ證券ニ
移ルカラ利下ハ出來ナイト言ツテ居リマス

堀越理事 次ハ高安サン

高安松江支店長

鳥根、鳥取兩縣ノ一昨年末ノ預金ハ一億二千七百萬圓デ昨年
末ハ一億二千百萬圓トナリ其間六百萬圓即チ四・七%ノ
減少トナツテ居リマス、之ヲ東京、大阪、名古屋、神戸、
横濱、京都以外ノ全國交換所組合銀行ノ減少割合トヲ比較
シテ見ルト鳥根、鳥取ノ減少割合が大キイ様ニ思ハレマス
兩縣下ノ預金ノ状態ハ大体二月、三月、四月迄ハズウツト
減少シ四月ガ頂上ニシテ、五月カラハ増加スル傾向ガアリ
マス、五年ノ五月迄ノ状態ハ大体同様デシタガ五月カラ増
加スベキ預金ガ反對ニ減少シマシタ、コレハ五年度ニ於テ
四年迄ノ状態トハ變化ヲ來シタノデアリマス、而シテ昨年
ノ預金減少ノ割合ハ鳥根ト鳥取トハ同ジデハアリマセン、
即チ鳥根デハ三・八%ノ減少デ、鳥取デハ五・四%ノ減少
デアリマス。之ヲ預金ノ種類別ニ調べテ見ルト五年ノ初メ

頃ハ當座預金ガ非常ニ減少シソレカラ特別當座預金モ減少シ、貯蓄預金ハ増加シマシタ、然シ年ノ半バ頃カラ此形勢ガ逆轉シテ當座預金ハ減少セズ定期預金ガ急ニ減少シマシタ、最初ノ當座預金ノ減少ハ市街地ニ於ケル商業資金ノ關係デ地方ノ預金ガ市街地ニ移ツタモノダラウト思ヒマス、定期預金ノ急減シタノハ矢張り各地方ト同様ノ原因デス、兎ニ角土着銀行ノ預金ハ非常ニ減少シマシタ、即チ支店銀行ハ一・七%ノ減少デスガ、土着銀行ハ七・六%ノ減少デス、貯蓄銀行ハ四・九%ノ増加ニシテ、預金増加ノ最モ大キイノハ勸業銀行支店ニシテ三二%ノ増加率ヲ示シテ居マ
ス

預金減少状態ハ大体斯様ナコトデスガ其原因ハコレ迄ニ皆様ガ述ベラレタ様ニ農村ノ疲弊及不景氣ノ長續キニ困ルモノ
ノデス

元來山陰地方ハ工業地帯ガ少ク、製絲場ハ相當アルケレドモ縣外製絲ノ工場ガ多ク、從テ金融ニハ餘リ影響ガアリマセン

農村魚村ノ疲弊ハ何處モ同ジデ土着銀行デモ農村ニ於ケル其支店ト市部ニ於ケル支店トノ預金ノ減少率ガ違ヒマス、コレハ本年一月カラ三月迄ノ短期間ノ状態デスガ郡部ハ四・三%ノ減少デ、市部ノ方ハ却ツテ少シ増加シテ居リマス、貯蓄銀行デモ同ジ傾向デス、農村ガ最モ苦痛トシテ預金ヲ引出ス原因ハ公稅公課ノ負擔ガ大デアルカラダト思ヒマスソレカラモウ一ツノ原因ハ銀行ノ信用ノ減退デ、コレハ種種ノ形デ現ハレテ居リマスカラ引出サレタ預金ガ何處へ行クカハ明瞭ニハ判リマセンガ、勸業銀行ノ預金増加ノ如キハ即チ其一ツダト考ヘマス、ソレカラ勸業銀行ニハ特約預金ナルモノガアリマス、コレハ將來發行スル勸業債券ト振

替ヘラルベキ預金ニシテ、其利子ハ六分デシタガ、先月カ
ラ五分五厘ニ下ゲマシタ、此特約預金ニ大口預金ガ相當行
キ、殊ニ市町村ノ預金ガ多ク行ツタ様ニ思ハレマス
先達鳥取ノ方ニ緩慢ナル預金引出ガアル様ニ思ツタカラヨ
ク調べテ見ルト、確實ニシテ有利ナ特約預金ノ方へ移スタメ
ダトノ話デシタ、又町村會議員等ガ盛ニ之ヲ吹聽スルモノ
ガアルトノ話モ聞キマシタ

ソレカラ郵便貯金へノ移動ハ數字的ニハ判リマセンガ少ク
トモ銀行預金ガ減少シ、郵便貯金ガ増加スル處ヲ見マスト
其傾向ガアルト思ハレマス、島根縣デハ郵便貯金ハ急激ニ
増加シテ居マセンガ鳥取デハ相當増加シテ居マス
ソレカラモウ一ツコレハ繼續的デハナク、ホンノ一時的カ
モ知レマセンガ近來農村對策ヲ地方人ガ眞劍ニ考ヘル様ニ
ナリ、其結果地方デハ産業組合ガ活動シ始メマシタ、最近

産業組合ノ勘定ヲ見マスト其預ケ金モ貸出モ共ニ増シテ居マス

預金減少ノ對策ハ矢張り名案ガアリマセン、銀行ノ信用ヲ高メルト云フコトモ困難デス、消極的ニハ預金ノ減少ト貸出ノ減少トガバランスヲ保ツテ行クベキデスガ此貸出ノ回收方針ハ却ツテ悪評ヲ招キ失敗シテ居マス、コレハ得意先ヲイデメルト云フ噂ヲ立テラレ預金ノ減少ヲ促ス結果トナルノデス

結局對策ハ別段ナク、只消極的ニ經營ノ合理化ヲ計リ經費ヲ節減シ、預金減少ノ影響ヲ他ノ方法デ防グヨリ外途ハナイガコレモ實行ハ六ヶ敷ク、お互ニ相當考ヘテ居マスガ、仲々困難デ結局對策ハナイト同ジ狀態デス

預金利子ノ問題ハ昨年モ利下シ今年モ利下シマシタガ公表利率ハ大体有名無實デ協定ハ爲スガ仲々實行サレテ居マセン

堀越理事

將來ノ見込ニ付テハ結局山陰地方トシテ特別ノ方法モ無ク
金融上ノ政策ニ依ルモ困難デ農村ノ疲弊ニ因ル預金ノ喰ヒ
込ミノ止ンデ終フコトハ六ヶ敷イ、コレガ六ヶ敷ケレバ預
金ハ何等カノ方法デ減ツテ行クノデス
勸銀ノ特約預金ハ六分カラ五分五厘ニ下ゲタノデスカ、普
通ノ定期預金ノ利子ハイクラカ

高安松江支店長

四分二厘デス

堀越理事

市町村ノ公金預金ガ特約預金ニ行クカ、假令行ツテモ之ニ
應スルコトハ出来ナイダラウ

高安松江支店長

先日發行サレタ場合ハ之ニ應ジマシタ

堀越理事

學校ノ資金デアラウ

高安松江支店長

サウデス

堀越理事

特約預金ト云フノハ何時頃出来タカ

高安松江支店長

ハツキリ判リマセン

堀越理事 外ノ地方ニモ特約預金ト云フモノガアルカ

柏木廣島支店長 外ニモアリマス、特ニ高率ニ預ルノハ債券ヲ買フカラデス

堀越理事 勸銀ハ預金協定ニ入ツテ居ナイカ

高安松江支店長 私人ノ方デハ入ツテ居マセン

堀越理事 君島君ノ話デハ入ツテ居ル様ダガ入ツテ居ナイ所モアルノ

デスカ、若シ入ツテ居ルトスレバ協定違反トナラヌカ

君島岡山支店長 ソレハ他ノ銀行ガ認メテ居ルノデス

菊地京都支店長 協定ハ他ノ銀行ガ承認スレバヨイノデス

堀越理事 他ニモ承認シテ居ル所ガアルカ

勝田熊本支店長 農工銀行等ハ協定ニ入ツテ居テ之ヲヤツテ居ルモノガアリ

マス

柏木廣島支店長 愛媛縣デハ斯様ナ豫約預金ヲ止メルカラ利下ヲヤラウト言

ツテ居マス

堀越理事 今日ハコノ位デ止メルコトニシテ明日ハ一時半カラ始メマス

(午後四時半閉會)

第三日 (水曜日)

五月十三日 午後一時四十三分開會

總裁、副總裁、永池理事、堀越理事、中根理事、各支店長、各部局長、検査役及調査役出席

堀越理事 昨日ニ引續キ又地方ノオ話ヲ伺フコトニ致シマス、阿部サ

ン一ツ話シテ下サイ

阿部名古屋支店長

何處モ同様デスガ名古屋モ矢張り不景氣ノ爲預金減少シ、

又銀行ニ對スル不安ニ因リ地方銀行ノ預金ガ大都會ヘ流レテ行キ、其爲ニ減少スルノデアリマス

名古屋ノ市内ニハ東京、大阪ノ銀行ノ支店ガアリマスガ其以外ノ銀行デモ預金減少ノ傾向ガ現ハレテ居マセン、名古屋デハ預金ノ爭奪ガ激シク大銀行ガ預金ヲ奪フト云フノデ苦シイ銀行ガ大銀行ノ惡聲ヲ放ツト云フ様ナコトガアルト

現在デハ六行シカナイカラ銀行ニ對スル不安ガ薄イ關係ダ
ラウト思ヒマス。預金減少ニ對スル措置ハヨク分リマセン
ガ差當リ預ケ金ヲ以テ支拂ツテ居ルカラ同業者預金ガ減ツ
テ行キマス、又單名手形ヲ手放シ、貸出ヲ回收スルノデス
ガ悪イ貸出ハ回收ガ出來ズ、良イ貸出ヲ回收スルト良イ得
意先ヲ他ニ取ラレルカラ惜イノデ之モ出來ズ結局貸出回收
ハ六ヶ敷イノデス、ソレドウシテモ預金ノ減少ヲ喰ヒ止
メ、或ハ其増加スルコトニ努力スル譯デスガ此見込モ繭ガ
高クナリ農家ノ懐合ガ良クナラナケレバ出來ナイコトデ當
分ノ間ハ矢張り減ツテ行クデセウ、故ニ中ニハ止ムナク高
イ利子ヲ拂ツテ減少ヲ止メルモノモ相當アル様デス
岐阜デハ蘇原銀行ノ影響モ漸ク落付イタ所デ、預金ノ利下
ハセヌ筈デシタガ名古屋ノ利下ニ引ヅラレテ利下スルコト
トナリマシタ、静岡ハ金利ノ高イ所ナルガ三月ニ利下ヲ爲

堀越 理事

阿部名古屋支店長

シ四月ニハ歩調ヲ共ニスルコトが出来ナカツタ爲利下セズ先達モ利下問題デ随分モメテ、私ノ上京スルトキハ交渉中デアルト言ツテ居マシタ

其事ハ新聞ニ出タカ

新聞ニハ出テ居マセン

ソレカラ銀行ノ收支ガ今後ドウナルカト云フコトハ景氣が好クナルヨリ外ニ仕方ガナイト思フ、私ノ方デハ預金ガ減少シテモ尙遊資ニ困ル銀行モボツボツアリ、其邊ハ門司方面トハ違ツテ樂ナノデセウ、其他餘リ變ツタ事モアリマセン

堀越 理事

阿部名古屋支店長

名古屋方面モ農村デ税金ノ拂ヘナイモノガアルカ
アリマス

永池 理事

名古屋ハ大体今日迄ウマクヤツテ來タ、外ノ各縣ト比較スルト預金ノ減少モ少イダラウ

阿部名古屋支店長 少イトハ云ヘマセン、三重縣ハ少イガ岐阜縣ニアシナコト

堀越理事 名古屋デハ預金ノ爭奪ガヒドイ様ダ

阿部名古屋支店長 ソレハ協定ヲ守ラナイモノガアルノデスネ

君島岡山支店長 静岡ハ名古屋ヨリ預金利子ガ高イノデスカ

阿部名古屋支店長 静岡ノ方ガ高イ

堀越理事 協定ガウマク行カナイノハ市ノ方デスカ

阿部名古屋支店長 サウデス

堀越理事 名古屋ノ方デハ遊資ニ困ルモノガアリマスカ

阿部名古屋支店長 三重縣アタリデハアル様デス

堀越理事 次ニ中山サン

中山松本支店長 松本ノ銀行ハ御承知ノ様ナ事情ニ依リ他ノ地方ト比較スル

ト非常ニ悪イ

昨年十一月ニ信濃銀行ガ店ヲ閉メタガ其他ニモ店ハ閉メナ

イガ支拂猶豫ヲ願ツテ居ル銀行ガアリマス、然シアレ丈ケ
ノ不安時代ニ於テ取引先銀行ノ中デ何等ノ影響ヲモ受ケナ
イ銀行カ二ツアツタ、其一ハ重役ガシツカリシテ居ルモノ
デ他ハ預金ガ比較的少イノデ不安氣分ニ襲ハレナイモノデ
アリマス

預金ノ減少ハ昨年十一月カラ平均數デ三割ヲ減ジテ居マス
其内面白イ現象ハ好イ銀行ノ減少率が大キク、惡イ銀行ノ
減少率が小サイト云フコトデ、好イ銀行ハ四割以上モ減少
シテ居ルガ惡イ銀行デハ僅カニ九分位ノモノデス、コレハ
惡イ銀行ハ減リ様ガナイノデス、實際ハ減ルベキデスガ拂
ヘナイカラ減ラナイノデス

個々ノ銀行ノ預金減少ノ理由ハ夫々特殊ノ事情ニ基クモノ
ニシテ之ヲ一括スルコトハ不可能デスガ其主ナルモノハ信
濃銀行ト接近シテ居ル店ハ預金ノ支拂が多ク、又手許ノ準

備ヲ急イダ爲ニ預金ノ引出ヲ受ケタモノガアリマス、其理由ハ手許準備ノタメニ貸出ヲ回收スルト惡宣傳ヲ爲ス者ガアリ一般ニ人氣ガ惡クナルカラデアリマス、尙モウ一ツハ行員ノ費消事件ガ多ク新聞ニ出タ爲、預金ノ引出ニ遇ツタモノモアリマス、ソレカラ前ニモ一寸申シマシタガ支拂能力ノ多イ銀行ガ多ク預金ヲ引出サレタコトハ私ノ考ヘデハ好イ銀行カラ澤山金ガ出ルノガ當然ノコトダト思フノデアリマス

以上ハ取引先ノ話デスガ取引先外ノ銀行ハ大部分萎靡シテ何事モ爲シ得ル力ガナク現在デハ小銀行ハ銀行ト云フ名稱ノミデ實質ハ組合ノ形トナツテ居ル様デス
支拂猶豫ヲ爲シタ銀行ハ簡單ナ整理案ヲ作り預金者總動員デ店ヲ開クト共ニ少シ許リ支拂ヲ爲シ其以上ノ支拂ハ不能ダカラ何トカシテ其銀行ヲ生カシテ行ク様ニ考ヘ居ルガ

然シ一方デハ自分等ガ折角貯ヘタ金ヲ無クスルノモ困ルカ
ラト云ツテ預金ヲ引出ス者ガアル。地方ノ人デモ預金ヲ引
出スコトハ惡イト云フコト位ハ承知シテ居ルガ其處ガ人間
ノ弱點デ矢張り引出スモノガ多イ、現在ニテモ引出ガ多ク
シテ預ケ入ハ少イ、定期預金モ期日ガ來レバ皆引出シテ了
フノデアリマス。現在店ヲ閉メテ居ル銀行ハ支拂猶豫又ハ
支拂停止等イロイロノ名ヲ以テ取扱ハレテ居ルガ其レガ六
行アリ、其預金總額ハ三千五百萬圓ニシテ、全体ノ預金ガ
僅カニ一億圓位シカナイ所ニ於テ三千五百萬圓モ斯ル預金
ガ占メテ居ルコトハ非常ニ苦痛デアリマス。地方銀行ノ預
金ノ支拂ハ大口預金者ニ對シテハ大体猶豫ヲ懇請シ、又市
町村ニ對シテモ同様ノ態度ヲ執ツテ居マスガ極ク面倒ナ請
求者ニ對シテハアツサリ支拂ツテ成ルベク店頭ニ人ヲ集メ
ナイ様ニシテ居マス、アチラノ人ハ春滿時期ニデモナレバ

拂ヘルダラウト思ツテ居ルラシイ

銀行以外ノ信用組合モ同様ナル状態ニシテ今年二月ノ預金
残高ガ四千四百萬圓アルガ昨年二月ニ比シ六百萬圓ノ減少
ヲ示シ、支拂停止状態ニアルモノカ十位アル様ニ思ハレル
定期預金ノ引出サレタモノハ何處へ行クカト云フト郵便貯
蓄ニ行クモノガ最モ多イ

昨年十一月信濃銀行ノ支拂停止ヲ中心トシテ考ヘルト郵便
貯金ノ増加ハ千萬圓近クニ上ツテ居ル、ソレカラモウ一ツ
ハ有價證券ヲ買フ者ガ増加シマシタ、従前ハ日銀ガ公債ヲ
募集スル際小口ノモノハ殆ド無カツタガ今日デハ小口ガ多
ク而モ直接日銀ニ來ル、代理店ヲ經由スルト自分ノ金ガ他
ニ行クコトガ分ルカラデアリマス

勤業銀行ハ他ノ地方ト同ジク預金増加ノ傾向デス、預金ノ
利子ハ定期ガ松本デハ四分五厘、長野デハ四分二厘デアリ

マスガ特約預金ハ確カ六分ダト思ツテ居マス、或ハ五分五厘ニ下ゲタカモ知レマセン、ソレデ一般銀行ノ勤業銀行ニ對スル態度ガ非常ニ惡イ、例ヘバ勤業銀行ハ普通日銀ト同様ニ交換所組合ノ客員トシテ取扱フノデアアルガ松本デハ之ヲ正員ニ入レテ居ルノデアリマス

以上ノ外預金ハ又中央ノ大銀行ニモ相當行キマシタ、名古屋ノ三銀行ニモ行ツタ形勢ガアリマス、大体此様ニシテ落付クコトデセウ、故ニ利下ノ話等ハ一言モ無ク、其氣分サヘナイ位デアリマス

堀越 理 事

預金ノ減少ハ他ヨリ其事情ガ違フガ最近其減り方ハ如何

中山松本支店長

近頃ハ餘計ニ減ル様デス

堀越 事 事

矢張り不安ニ因ル爲デスカ

中山松本支店長

不安其他イロイロアツテ銀行ニ依り夫々原因ガ違ヒマス

堀越 理 長

養蠶資金ガ出ルカ

中山松本支店長

ソレモアリマスガ、其連中ハ殆ド枯渴ノ状態デアリマス

堀越理事

郵便貯金ノ方ヘ行クノハ如何

中山松本支店長

現在デハオカシイ話デスガ郵便局ガ普通銀行ノ役目ヲシテ
居ル様ナ始末デス、即チ郵便局ハ銀行ノ小口當座預金ノ窓
口ノ様ナ働キヲ爲シ其出入ガ頻繁デス

堀越理事

アナタノ觀測デハ預金ノ減少ハ不安ニ因ルノデスカ

中山松本支店長

サウデス、最近銀行ガ店ヲ閉メタ場合ニ於テモ其附近ニア
ル銀行ノ預金減少ガ著シイ

堀越理事

勸業銀行ガヨク思ハレテ居ナイトハ何故カ

中山松本支店長

ソレハ勸業銀行ガ預金ヲ持ツテ行キ又他ノ銀行ノ貸出ヲモ
奪フカラデス、尤モ勸業銀行ノ貸付ハ農工銀行ヨリモ嚴格
ナルモ皆勸業銀行ノ方ヘ行クカラ今デハ地方ノ銀行モ地方
人モ勸業銀行ヲ善ク思ツテ居ナイ

堀越理事

組合銀行ノ仲間デ勸業銀行ヲ客員ニシナイトハ如何

中山松本支店長

他ノ地方デハ日銀ト同ジク客員トシテ優遇サレルノデア
ルガ彼地デハ正員トシテ取扱フカラ勸業銀行ノ面目ヲ失墜ス
ルト云ツテ他ノ地方並ニ取扱ハレ度イ模様ナルモ不可能デ
ス

堀越 理事

預金引出ノ原因中支拂準備が多イト却ツテ預金ヲ多ク引出
サレルト云フ理屈ハナイガソレハ縣全体ノ銀行ニ對スル信
用ガ無クナツタ爲ニ預金ヲ引出スモノニシテ支拂準備ノ有
無ニ關係ガ無イノデハナイカ

中山松本支店長

準備ガアル爲ニ多ク引出サレルノデス

堀越 理事

準備ガアルト否トニ關係ナク好イ銀行モ悪イ銀行モ同様ニ
引出サレルノデアアルガ金ノナイモノハ仕方ガナイカラ結局
金ノアル銀行ガ引出サレルノダ

中山松本支店長

サウデス

堀越 理事

ソレデハ準備ヲシタ爲ニ引出サレタノデハナイ

中山松本支店長

支拂能力アル所ニ行カナケレバ拂ツテ呉レナイカラ支拂能

力アル所へ引出シニ行クノデス

堀越 理事

矢張り不安ノ爲一般ニ取付ケラレテ居ルノデスネ

中山松本支店長

兎ニ角支拂能力ガアル所ニ問題ガ起リマス、労働爭議ニシ

テモ全ク賃銀ノ拂ヘナイ所デハ起ラズ支拂能力アル比較的
良イ工場ニ起ルモノデス

永池 理事

支拂能力無キ所ハ如何

中山松本支店長

無イ所ハ仕方ガアリマセン

永池 理事

取付ハ起ラヌカ

中山松本支店長

金ガナイカラ起リ様ガアリマセン

永池 理事

斯ル銀行ニ金ヲ預ケニ行ク者ガアルカ

中山松本支店長

殆ドアリマセン

宗像福島支店長

福島ニ於テモ準備ノ少イ銀行へ預金ヲ引出シニ行クト一何
ニ使フカ一ト尋ネ其理由ニ依リ一十圓ハ多イカラ五圓ニシ

堀越 理事

テ吳レート云フ位ニシテ居マス、然シ斯様ナ銀行ニハ誰モ金ヲ預ケニ行キマセン

ソレテハ松本ノ方ハ養蠶資金ガ困難タラウ

中山松本支店長

非常ニ困ツテ居マス、今年ハ糸ガ安イカラ製絲資金ノ出方が少イガ、然シ相當準備ヲシテ出シテヤラナケレバナラヌト思ヒマス

堀越 理事

繭ノ産額モ減ルダラウ

中山松本支店長

所ガ之ヲ減ラス譯ニハ行カナイノデス、何トナレバ養蠶デ餓ヲ喰ツテ行カナケレバナラナイカラデス、今日ノ新聞デ見タノデスガ捕立ノ數量モ長野デハ減リ方ガ少イ、尤モ對策トシテ外ノ品物ヲ作ル方法等ヲ講ジラレテ居ルガ皆實行性ガアリマセン

永池 理事

金ハ製絲家ニ必要カ、農家ニ必要カ

中山松本支店長

今テハ製絲家ハ片倉ノミ位ガ一時持ち耐ヘラレルガ他ハ大

堀越 理事

方資金ニ窮シ居リ、又農家モ金ガ必要デス
縣當局ヤ大藏省デハ整理資金ノ問題ニ付考ヘテ居ルガ實現
シナイ

永池 理事

中山松本支店長

資金融通ハ農工銀行、組合又ハ中央金庫ヲ經由スルカ
農工銀行ヲ經由スル、勸業銀行ハ人數ガ少イカラ其能力ガ
ナク、假ニ出來テモ能率ハ上ラナイ

近頃頻リニ日銀ノ指定倉庫ノ依頼ガアルガ容易ニハ出來ヌ
ト説明シテ斷ツテ居ルガ優良ナモノニシテ、形ノ稍整ツテ
居ルモノハ研究シテ置クト云ツテ置キマシタ

永池 理事

中山松本支店長

中央金庫ハ如何
中央金庫ハ危險ヲ負擔シナケレバナラヌカラ出來ナイト云
ツテ居マス

堀越 理事

中山松本支店長

所謂乾繭倉庫ナルモノハナイカ
アリマセン、繭絲市場ガアリマス、愛知ノ碧海倉庫ノ様ナ

堀越 理事

岡田神戸支店長

モノハナイト思ヒマス

ソレデハ次ニ岡田サン

兵庫縣下ノ預金ハ此三月末ヲ一年前ト比較スルト三億圓ノモノガ二億六千三百萬圓トナリ一割二分ノ減少デアリマス其内デ神戸ニアル五大銀行ノ支店分ハ一億九千六百萬圓ガ二億八百萬圓トナリ、丁度千二百萬圓ノ増加ヲ示シ、本行取引先六行分ニ付テ見ルト一億八千二百萬圓ガ一億七千四百萬圓トナリ八百餘萬圓ノ減少トナツテ居マス

貯蓄銀行分ハ二千五百萬圓ガ三千萬圓トナリ五百萬圓ノ増加ヲ示シテ居マス、是等ノ理由ハ或ハ財界ノ不況ニ因ルモノナルカ或ハ又一般的ノ不安ニ因ルモノカハ明瞭デハナイガ預金が大銀行ニ集ツテ行クノハ事實デアリマス

ソレカラ利廻ノ關係ガ悪クナリ、預金利子が低イカラ預金者側テ算盤ヲ探ツテ見テ國債ヲ買フ者モアリマス

稀ニハ個人デ貸付ヲ爲ス者ガアル即チ銀行ガ小サイ貸出ヲ
シナイタメ金持ノ個人カラ金ヲ借ル、コレハ金ノアル者ガ
銀行ノ利下ト不安トニ因リ銀行預金トハセス、又郵便貯金
ニモセス、又有價證券ヲモ買ハスシテ斯ル方面ニ金ヲ運用
シテ居ルモノデ最近コレガ**ボツボツ**アル様ニ聞キマシタ
郵便貯金ノ増加率ハ一時一寸減リマシタガ又三月頃カラ盛
り返シテ來マシタ、多分今度ノ利下ガ利イタノデセウ
ソレカラ銀行ガ當面トウシテ居ルカト云フト預金ト貸出ト
ガ相俟ツテ減少スルモノモアリ又貸出ノ方ガ多ク減少スル
モノモアリマス、或銀行ハ此際貸出ヲ爲サズシテ預ケ金ノ
ミヲ爲スモノアリ、收支計算モ貸出ヤ預ケ金ニテ間ニ合ハ
ヌモノハ有價證券ヲ處分シテ収益ヲ賄ツテ居ル様デス、將
來ノコトニ付テハ積極的對策ハナク、只消極的ニ經費ヲ節
減シテ當面ノ收支ヲ合セ暫ク此狀態ヲ見守ツテ居ルノデス

堀越 理事

尤モ以上ハ取引先ノ話ナルガ郡部ノ小銀行ハ既ニ度々オ話
シアリタル様ニ貸出ノ回收モ出來ズ隨分困ツテ居ルモノモ
アリマス

兵庫縣デハ京阪ノ方面ヨリモ奥ノ方ノ小銀行ガ時々故障ガ
アリマスネ

岡田神戸支店長

田舎ノ方ハ一般ニ銀行ノ信用ガ無クナリマシタ

堀越 理事

未ダ其ノ様ナ事ガ續キマスカ

岡田神戸支店長

少シハ續キマセウ

堀越 理事

コレハ問題外ナルモ神戸ノ海運ガ少シ好クナツテ來タ模様
ダガ如何

岡田神戸支店長

少シ好クナツテ來マシタ、運賃ハ昨年末ニハ七、八十錢ニ
下ツテ居タモノガ近頃デハ一圓二十錢トナリ、船料備料モ八
千噸型ノモノガ昨年ノ安イ時ニハ噸七、八十錢デアツタモ
ノガ一圓七十錢トナリマシタ、サウナルト實費ガ一圓位カ

カルカラ差引七、八十錢位残り、船ノ銷却モ出來ル、ソレカラ近頃京氣が好クナリ緊船ガ減リマシタ、即チ十二月ニハ社外船ガ六十八隻此噸數三十五萬七千噸アツタガ之カ十七隻七萬五千噸ニ減少シマシタ、其原因ハ濠洲ノ小麥ノダ**ンピング**ノタメ山下汽船ガ大型船ヲ配船シタノデス、コレハ日本ニ有利デアルカラ近海ヨリモ遠洋航ノ方ガ當ツテ來タカラデス

小麥ハ爲替ノ關係カラ盛ニ積出サレ、三、四月ニテ一仕切デアルノガ六、七月頃迄荷ガアルラシイ、從テ海員ノ從業期間モ存外延ビマシタ、小麥ハ製粉シテ支那へ出ル、從來ハ米國カラ支那へ出シタノデアルガ今デハ值安ノ日本カラ出ル、之ガ爲メ石原産業等ニハ最モ好都合デス

製鐵ノ原料ハ預金部カラ大正十三年ニ二百五十萬圓借りテ居タガ只今デハ百三十萬圓デス、近頃ハ預金部へ返済出來

ルノデアアルガ預金部ノ貸付中最モ善イモノデアアルカラ之ガ
無クナルト困ルト云フノデ特ニ殘シテアルノデス、餘程收
益ガアルラシイ

ソレカラ貿易ノ方モ昨年ノ秋頃ヨリハ一寸景氣が好クナリ
其金額ハ減少シテ居ルガ數量ハ寧ロ増加シテ居マス、輸出
ハ勿論輸入ノ方モ小麥羊毛ハ増加シテ居ル、コレハ濠洲ノ
爲替ノ關係デ、爲替ハ以前ヨリ三割モ少クナリ、其爲ニ日
本ノ毛織會社ガ近頃働キ出シテ來タ模様デアリマス
ソレカラ貿易ノ關稅收入ハ二割モ減少シテ居ル、

堀越理事

支那ノ貿易モ數量ハ多イカ

岡田神戸支店長

支那ノ方モ多クナツテ居マス

中根理事

新シイ貿易ガ出來テ來タ譯カ

岡田神戸支店長

羊毛、小麥、棉花ノ數ハ去年ヨリモ多クナツテ居マスカラ
一寸心強イ

堀越 理事

絹布ノ輸出ハ横濱ヨリ神戸ガ多イ様ダガ如何

岡田神戸支店長

サウデス、生絲ノ輸出モ神戸ガ多イ様デス、コレハ生絲ノ

取扱ガ稍寛大ナル爲デハナイカト思ハレマス

堀越 理事

次ニ下村サン

下村函館支店長

函館ノ預金ハ昭和四年十月五千六百萬圓ガ最高記録ニシテ

其後次第ニ減少シ最近四千八百萬圓トナリマシタ、其原因ハ内地ノ狀況トハ異リ産業界ノ萎靡ガ主因デアリマス、産業界トハ遠洋漁業ノコトデスガコレガ本年ハ近來ニナク悪イ。

昨年春カラ夏迄ハ内地ノ不況ガ未ダ北海道ニハ移サレズ随分恵レテ居テ餘リ弱ツテ居ナイコトハ昨秋申上ゲタ通りデス

コレカラ述ベル所ハ其以後ノコトデスガ其後不況ノタメ露國側ノ買付ガ激減シ、其レガ原因トナツテ銀行預金ガ激減

シマシタ

漁業關係ノ物價ヲ現内閣ノ出來ル直前即昭和四年四月ト本年三月トヲ比較スルト漁業製品ノ價格五割以上モ低下シタモノガ非常ニ多イ、鯨粕、鰯粕ノ如キハ四割、鮭ノ罐詰ガ三割、蟹、乾鱈ガ二割ノ下落デアリマス、昨年ハ漁獲ガ平年以下ナルニ右様ノ値下リダカラ商人ノ手許金ハ隨金減少シタノデアリマス

何故露國側ガ急ニ買付ヲ見合シタカト云フト從來ハ手形期日ガ六ヶ月デアツタガ之ヲ三ヶ月間延長シ九ヶ月トスルコトヲ申出テタルコト及其後ソビエツト政府ノ態度ガ氣遣ハレルノデ今後ハ露國手形ヲ割引カヌコトニ申合セタカラデス、ソコデ日本ト露國トノ親善ヲ計ルタメ日ソ協會ナルモノヲ組織シ其土地ノ者五十人許リ集ツテ協議シ雙方ノ諒解ヲ得ル様ニ努力シタガ露國側ハ却テ誤解シ漁具等ハ函館カ

ヲ買付ヲセズ日本ノ内地ニ於テ買ヒ集メ、此三月迄ニ北陸
其他ニテ網、鹽等ノ必需品ヲ三百五、六十萬圓モ買入レ、
又小樽ニモ通商代表ヲ置キ買入ヲ爲シ常ニ函館ヲ牽制スル
様ナ次第デスカラ函館ハ益々困ツテ居ルノデス、ソレデ函
館商人ハ最近ニ至リ手形ハ九ヶ月ニテモ差支ナイト言ツテ
居ルガ露國側ハ餘程イコジニナツテ買付ヲシナイ
ソレカラ組合銀行モ露國關係ノモノノミナラズ一般漁業關
係ニ對シテモ警戒シ始メマシタ、從來ハ第一銀行ノ如キハ
大膽ニ出動シテ好成績ヲ舉ゲ、年々五、六百萬圓モ割引イ
テ居マシタガ昨年ハ餘程手控ヘタ様子デアリマス
昨年ノ暮ニ函館ノ製網會社ガ露國ニ網丈ケデ二百六十萬圓、
内地ニ二百萬圓モ賣付ケ、其三割位ノ儲ケガアリ大ニ喜ン
デ居マシタ、然シ其決濟ヲ受ケルヤ否ヤヲ心配シテ居タガ
昨年分ハ極東銀行ニ大キナ爲替ガ繼リタル爲、全部支拂ヲ

受ケタガ今年ハ露國側ノ關係デ手形ノ割引ニ應ジナイカラ
銀行預金ハ増加セズ反對ニ其引出ガ多イ爲昨年ノ始メ頃ト
比較スルト千萬圓モ減少シテ居ルノデアリマス

ソレカラ非常ニ面白イコトハ函館程高利貸ガ好成績ヲ舉ゲ
テ居ル所ハ他ニナイト云フコトデス、其一例ヲ舉ゲルト電
車通りニ在ルカツパ屋ガ十數年來其仕事ノ傍ラ個人金融ト
シテ漁業關係ニ金貸ヲ爲シ、三十五、六萬圓モ儲ケ之ヲ資
本トシテ手形ヲ割引及貸付等ヲ爲シ大ニ活動シテ居ル、假
令損ヲシテ全部無クシテモトモトダト言ツテ居ル、カツ
パノ賣行キハ大ナルモノデハナイガ斯様ナコトヲシテ大資
本ヲ作り大ニ活動シテ居ルト云フコトハ銀行側ガ警戒シテ
居ル折柄注目スベキコトダト考ヘマス

漁業關係ノ萎靡ハ前述ノ露國側ノ買付ガ減少シタ外ニ尙日
本ノ漁業家が大事ヲトリ、出漁ノ計畫ヲ縮少シタコトモ原

因シテ居マス、一例ヲ擧ゲルト蟹工船ノ出漁モ今年ハ八艘
二萬五千噸デ昨年ノ十九艘六萬三千噸ノ半分以下トナリ又
鮭鱈ヲ獲ル日魯漁業ガ御承知ノ様ナ内容ノ爲、手控ヘ從來
ハ漁夫ヲ一萬三千人モ雇ツタガ本年ハ九千人ニ減少シ、網
モ新シイノヲ買ハズ修繕シテ使フカラ其賣付モ減少シマシ
タ

漁業關係ガ斯ク不景氣ニナリタル爲土地ノ商人ヲ相手トス
ル雜貨商ノ如キモ影響ヲ受ケ函館ハ昨年暮カラ本年ニ入ツ
テハ全ク減入ツテ了ツタ様ナ次第デス

從來内地カラ北海道ハ景氣ガ好イト云ツテ隨分人ガ入ツタ
ガ皆驚イテ歸ツテ行キ晝家等モヨク内地カラ皆引揚ゲマシ
タ

預金ノ利下ハ四月四日ニ實行シマシタ、今迄ハ利下ヲスル
ト商人カラ苦情ガ出タガ今年ハ不思議ニモ苦情ナクシテ實